

学修の手引き

第 3 学 年
(Segment 5)

令和 8 (2026) 年度



東京女子医科大学
医 学 部

目 次

東京女子医科大学設立の精神	1
東京女醫學校設立主意	2
序 言	3
東京女子医科大学の目的	4
東京女子医科大学医学部における4つのポリシー	5
MDプログラム2011改訂版について	9
学部教育を通じて達成する医師としての実践力	10
医の実践力_アウトカム・ロードマップ	12
慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ	15
カリキュラムツリー	17
カリキュラムの構造	18
週間の授業予定	18
セグメント5	
I 学修内容	19
II 到達目標	
A. 包括的到達目標	21
B. 科目別シラバス	
・基幹科目	
「内分泌・高血圧系」	24
「栄養・代謝系」	36
「消化器系1」	44
「消化器系2」	53
「新生児・小児・思春期」	70
「加齢と老化、臨終」	82
・縦断教育科目	
「『至誠と愛』の実践学修」	92
「国際コミュニケーション」	100
「医療・患者安全学」	103
「基本的・医学的表現」	107
「A I・データサイエンスと医療」	112
「健康管理」	115

Ⅲ	チュートリアル・TBL学修	
1	チュートリアル・TBL	117
2	チュートリアル・TBLについて	128
3	チュートリアル・TBL課題一覧表	133
Ⅳ	試験科目表・試験日程表	134
Ⅴ	S5教育委員会・学生アドバイザー・学生委員	136
Ⅵ	選択科目	138
Ⅶ	講義・実習時間割表	142

東京女子医科大学設立の精神

I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年（明治33年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年（昭和27年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年（平成10年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

II. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學學校

○設立主意

世界ノ文化ハ一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアラシヤ蓋シ一步ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音樂學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス淺學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學學校主 鷺山彌生 識

序 言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは2017年度に改訂されたMDプログラム2011(2011年度1年生より導入)であるが、その原形は1990年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育(その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして2018年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展)、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MDプログラム2011では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における 人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条 本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条 医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

- (1) 「至誠と愛」を实践する女性医師および女性研究者を育成すること。
 - (2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。
- 2 医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。
- (1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。
 - (2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を实践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断のカリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者のもとで診療に参加して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、チュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT (Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC (Clinical Clerkship) OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、チュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していかこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（「卒業生子女」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3親等以内の親族に本学医学部の卒業生（前身の東京女子医学専門学校も含む）がおり、併せて高等学校等の推薦を受けた者を対象として、面接、小グループ討論、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 (機関レベル)	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与(卒業)率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト	

		出席率・至誠と愛の 体得度・ポートフォ リオ・授業評価アン ケート	
大学院医学研究科 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退 学率・単位認定・レ ポート評価・研究計 画書・研究指導状況 報告書・中間発表会 評価	学位授与率・修了 率・学位論文の IF・ 就職率・学生調査・ アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート 評価・研究計画書・ 研究指導状況報告 書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

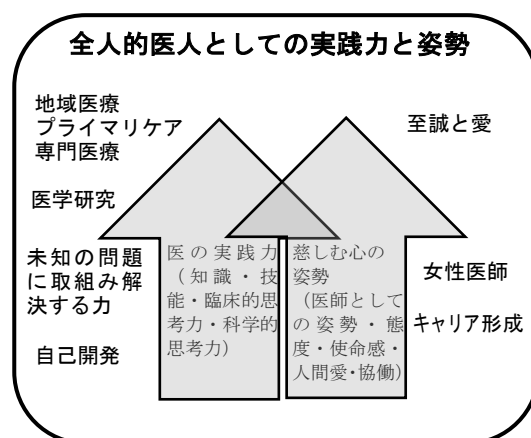
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・チュートリアル・TBL 教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時まで達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2年）、中学年（3/4年）、高学年（5/6年）で達成すべき具体的な目標をロードマップとして表している。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

I 医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力
 - A. 医学的知識を医療に活用できる。
 - B. 診断・治療・予防を実践できる。
 - C. 基本的技能を実践できる。
2. 問題を見つけ追求する力
 - A. 解決すべき問題を発見できる。
 - B. 問題を深く追求できる。
 - C. 未知の問題に取り組むことができる。
3. 問題解決に向け考え実行する力
 - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
 - B. 解決方法を選び実行できる。
 - C. 結果を評価できる。
4. 情報を伝える力
 - A. 患者に情報を伝えることができる。
 - B. 医療情報を記録できる。
 - C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
 - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
 - B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
 - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
 - B. 医療倫理を理解し実践できる。
 - C. 研究倫理を理解し実践できる。
 - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

II 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
 - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
 - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
 - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
 - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
 - B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。
 - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
 - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
 - E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
 - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
 - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
 - A. 自分の判断を説明できる。
 - B. グループを先導できる。
 - C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
 - A. 患者に希望を与えられる。
 - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

1 医の実践力—アウトカム/ロードマップ

		2. 問題を見つけ追求する力				
アウトカム	1. 知識と技能を正しく使う力	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1,2年 ロードマップ	<p>A. 医学的知識を医療に活用できる。</p> <p>① 人体の正常な構造と機能を説明できる。I-1-A-(1-2)-①</p> <p>② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。I-1-A-(1-2)-②</p> <p>③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。I-1-A-(1-2)-③</p> <p>④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。I-1-A-(1-2)-④</p>	<p>B. 診断・治療・予防を実践できる。</p> <p>① データを読み解読できる。I-1-B-(1-2)-①</p>	<p>C. 基本的技能を実践できる。</p> <p>① 実習に必要な技術を実践できる。I-1-C-(1-2)-①</p> <p>② 安全に配慮して実習・研修を行える。I-1-C-(1-2)-②</p>	<p>A. 解決すべき問題を発見できる。</p> <p>① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。I-2-A-(1-2)-①</p>	<p>B. 問題を深く追求できる。</p> <p>① 仮説を導くことができる。I-2-B-(1-2)-①</p> <p>② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。I-2-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 未知の問題に取り組むことができる。</p> <p>① 既知と未知の問題を明らかにできる。I-2-C-(1-2)-①</p> <p>② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。I-2-C-(1-2)-②</p>
3,4年 ロードマップ	<p>① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-①</p> <p>② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-②</p> <p>③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-③</p> <p>④ 疾患、症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④</p>	<p>① 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①</p> <p>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。I-1-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①</p> <p>② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の優先度および重要度を判断できる。I-2-A-(3-4)-①</p> <p>② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。I-2-A-(3-4)-②</p>	<p>① 問題の科学的重要性を評価できる。I-2-B-(3-4)-①</p> <p>② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。I-2-B-(3-4)-②</p>	<p>① 事例から自分の知らないことを見える。I-2-C-(3-4)-①</p> <p>② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。I-2-C-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。I-1-A-(5-6)-①</p>	<p>① 臨床推論を実践できる。I-1-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。I-1-B-(5-6)-②</p> <p>③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。I-1-B-(5-6)-③</p>	<p>① 基本的医療技能を実践できる。I-1-C-(5-6)-①</p> <p>② 安全に配慮して、医療を実践できる。I-1-C-(5-6)-②</p>	<p>① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。I-2-A-(5-6)-①</p> <p>② 患者の診療上の問題を明らかにできる。I-2-A-(5-6)-②</p>	<p>① 患者の病態の原因を検索できる。I-2-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「ころ」から説明できる。I-2-B-(5-6)-②</p>	<p>① 患者から新しいことを学べる。I-2-C-(5-6)-①</p> <p>② 患者から自分の知らないことを見える。I-2-C-(5-6)-②</p> <p>③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。I-2-C-(5-6)-③</p>

		4. 情報を伝える力					
3. 問題解決に向け考え実行する力		A. 患者に情報を伝えることができる。		B. 医療情報を記録できる。		C. 医療者と情報交換ができる。	
A. 適切な情報を集め有効に活用できる。		B. 解決方法を選び実行できる。		C. 結果を評価できる。			
アウトカム							
1,2年 ロードマップ	<p>① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-①</p> <p>② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②</p>	<p>① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。 I-3-B-(1-2)-①</p> <p>② 複数の問題解決法を考慮することができる。 I-3-B-(1-2)-②</p>	<p>① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-①</p> <p>② 結果に予想される誤差を考慮される。 I-3-C-(1-2)-②</p>	<p>① 自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①</p>	<p>① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-①</p> <p>② 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-②</p> <p>③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③</p>	<p>① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。 I-4-C-(1-2)-①</p> <p>② 相手の理解に合わせて、説明できる。 I-4-C-(1-2)-②</p> <p>③ 自己学習の結果を適切に伝えられる。 I-4-C-(1-2)-③</p>	
3,4年 ロードマップ	<p>① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-①</p> <p>② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②</p>	<p>① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-①</p> <p>② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②</p>	<p>① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-①</p> <p>② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-②</p> <p>③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③</p>	<p>① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>② 患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p>	<p>① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>② POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②</p>	<p>① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-①</p> <p>② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②</p>	
5,6年 ロードマップ	<p>① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-①</p> <p>② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-②</p> <p>③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③</p> <p>④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④</p>	<p>① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(5-6)-①</p> <p>② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②</p>	<p>① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-①</p> <p>② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-②</p> <p>③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③</p>	<p>① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-①</p> <p>② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-②</p>	<p>① 診療録を適切に記載できる。 I-4-B-(5-6)-①</p> <p>② 処方箋を適切に発行できる。 I-4-B-(5-6)-②</p> <p>③ 症例要約を作成できる。 I-4-B-(5-6)-③</p> <p>④ 死亡診断書記入法を説明できる。 I-4-B-(5-6)-④</p>	<p>① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-①</p> <p>② 患者の問題点を指導医に報告できる。 I-4-C-(5-6)-②</p> <p>③ 必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③</p> <p>④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④</p>	

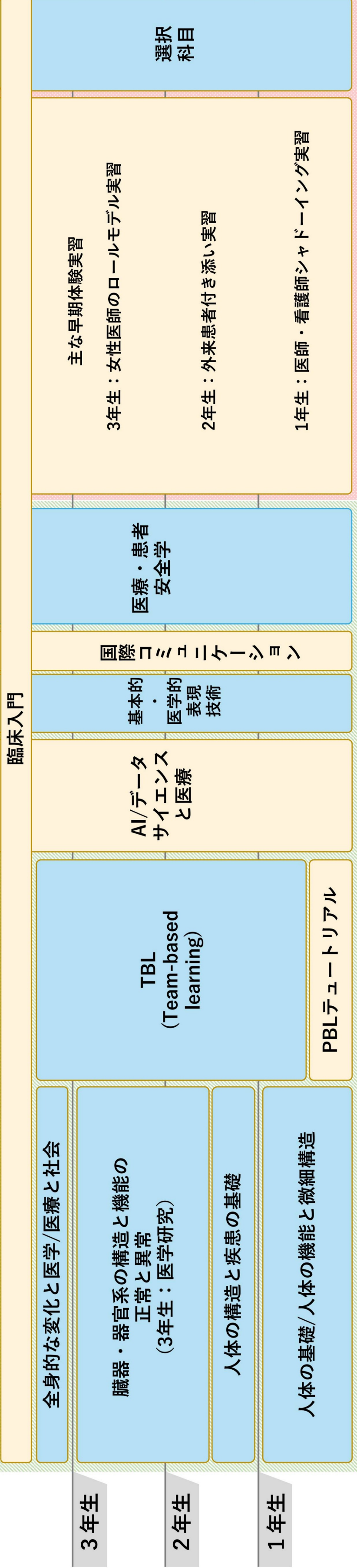
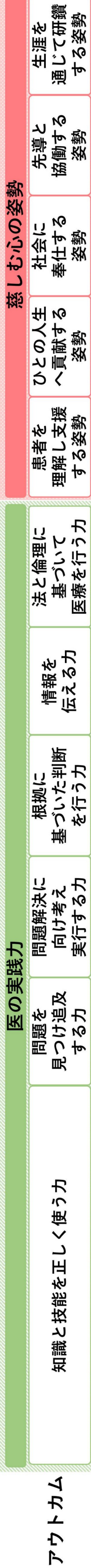
		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力				
		5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力		
		A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。		A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。		
		B. 根拠に基づいて診療を行える。		B. 医療倫理を理解し実践できる。		
		C. 根拠に基づいて診療を行える。		C. 研究倫理を理解し実践できる。		
		D. 社会的制度に沿った診療を行える。		D. 社会的制度に沿った診療を行える。		
アウトカム						
1,2年 ロードマップ	<p>A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。</p> <p>① 現象の原因・機序を検索できる。 I-5-A-(1-2)-①</p> <p>② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。 I-5-A-(1-2)-②</p> <p>③ 情報の信頼度を評価できる。 I-5-A-(1-2)-③</p>	<p>B. 根拠に基づいて診療を行える。</p> <p>① 根拠に基づいて解決法を判断できる。 I-5-B-(1-2)-①</p> <p>② 問題解決の適切性を評価できる。 I-5-B-(1-2)-②</p>	<p>A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。</p> <p>① 社会的規範を守った生活ができる。 I-6-A-(1-2)-①</p> <p>② 学則を守った学生生活ができる。 I-6-A-(1-2)-②</p>	<p>B. 医療倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 個人情報保護について説明できる。 I-6-B-(1-2)-①</p> <p>② 倫理の概念について説明することができ。 I-6-B-(1-2)-②</p>	<p>C. 研究倫理を理解し実践できる。</p> <p>① 研究倫理の概念について述べることができ。 I-6-C-(1-2)-①</p> <p>② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。 I-6-C-(1-2)-②</p>	<p>D. 社会的制度に沿った診療を行える。</p>
3,4年 ロードマップ	<p>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-①</p> <p>② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-②</p> <p>③ 根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p>	<p>① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I-5-B-(3-4)-①</p>	<p>① 医学生の医行為水準を説明できる。 I-6-A-(3-4)-①</p> <p>② 医師法・医療法の概要を説明できる。 I-6-A-(3-4)-②</p>	<p>① 医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>② 倫理的問題を明らかにできる。 I-6-B-(3-4)-②</p> <p>③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p>	<p>① 基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。 I-6-C-(3-4)-②</p>	<p>① 社会保障を概説できる。 I-6-D-(3-4)-①</p> <p>② 医療に関する保証制度を概説できる。 I-6-D-(3-4)-②</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。 I-5-A-(5-6)-①</p> <p>② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。 I-5-A-(5-6)-②</p> <p>③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。 I-5-A-(5-6)-③</p>	<p>① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I-5-B-(5-6)-①</p>	<p>① 病院の規則に従って診療に関われる。 I-6-A-(5-6)-①</p>	<p>① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。 I-6-B-(5-6)-①</p> <p>② 臨床倫理を実践できる。 I-6-B-(5-6)-②</p> <p>③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。 I-6-B-(5-6)-③</p>	<p>① 臨床研究の倫理指針を概説できる。 I-6-C-(5-6)-①</p>	<p>① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。 I-6-D-(5-6)-①</p>

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム/ロードマップ

		2. 生涯を通じて研鑽する姿勢						
アウトカム	1. 患者を理解し支持する姿勢	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援制度を説明できる。	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。
1,2年 ロードマップ	<p>A 患者の意志と尊厳に配慮できる。</p> <p>① 他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-①</p> <p>② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-②</p> <p>③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③</p>	<p>B. 家族・患者周囲に配慮できる。</p> <p>① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①</p>	<p>C. 社会の患者支援制度を説明できる。</p> <p>① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①</p>	<p>A. 目標を設定し達成するために行動できる。</p> <p>① 学習上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-①</p> <p>② 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-②</p> <p>③ 省察(振り返り)を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③</p> <p>④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④</p>	<p>B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。</p> <p>① 社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-①</p>	<p>C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。</p> <p>① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-①</p> <p>② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-D-(1-2)-②</p>	<p>D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。</p> <p>① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-①</p> <p>② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②</p>	<p>E. 専門職として目標を持つ。</p> <p>① 自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-①</p>
3,4年 ロードマップ	<p>① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-①</p> <p>② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②</p>	<p>① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②</p>	<p>① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①</p>	<p>① 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-①</p> <p>② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②</p>	<p>① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①</p>	<p>① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③</p>	<p>① 自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-①</p> <p>② 学習の中で興味を持ったことを自ら学ぶ。 II-2-D-(3-4)-②</p>	<p>① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①</p>
5,6年 ロードマップ	<p>① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-①</p> <p>② 患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-②</p> <p>③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③</p>	<p>① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-①</p> <p>② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-②</p> <p>③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③</p>	<p>① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①</p>	<p>① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 II-2-A-(5-6)-①</p>	<p>① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①</p>	<p>① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 II-2-C-(5-6)-①</p>	<p>① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-①</p>	<p>① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを示せることができる。 II-2-E-(5-6)-①</p>

		5. ひとの人生へ貢献する姿勢			
		4. 先導と協働する姿勢		3. 社会に奉仕する姿勢	
		A. 自身の判断を説明できる。		B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	
		B. グループを先導できる。		A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	
		C. 医療チームのなかで協働できる。		B. 医療研究を通じた社会貢献ができる。	
		A. 患者に希望を与えられる。		A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	
		B. 後輩を育てることができる。		B. 医療研究を通じた社会貢献ができる。	
アウトカム					
1,2年 ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。 II-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対応できる。 II-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。 II-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べたことを要約できる。 II-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。 II-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。 II-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-②
3,4年 ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③	① 自身の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができ る。 II-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のため に行動できる。 II-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②	① 学習する事例について医学の貢献を説明できる。 II-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたとときの状況を考え説明できる。 II-5-A-(3-4)-②
5,6年 ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 II-3-A-(5-6)-①	① 診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 II-4-A-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 II-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成員の役割を説明できる。 II-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 II-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 II-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 II-5-A-(5-6)-②
					① 適切な舞いで診療に参加できる。 II-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 II-5-B-(5-6)-③

卒業時	ディプロマ・ポリシー	DP5 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。
		DP4 安全な医療を行える能力を有する。
		DP3 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
		DP2 自ら問題を発見し解決する能力を持つ
		DP1 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。



□：形成的評価 □：総合的評価

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を3年後期までに学ぶ。4年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして4年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4年後半から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要がある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

6年間のカリキュラム全体図

1年	前期 (4月～7月)	セグメント1	人体の基礎	人体の基本的構造と機能/ 人体の防御機構	テ ュ ー ト リ ア ル ・ T B L	「至誠と愛」の実践学修	医療・患者安全学	基本的・医学的表現技術	国際コミュニケーション	AI・データサイエンスと医療教育	選択科目	研究プロジェクト
	後期 (9月～3月)	セグメント2	人体の機能と 微細構造									
2年	前期	セグメント3	人体の構造と 疾患の基礎	人体の発生と全体構造								
	後期	セグメント4	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常1 疾患の成り立ちと治療の基礎/循環器系 呼吸器系/腎尿路系/生殖器/妊娠と分娩									
3年	前期	セグメント5	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常2/ 人の一生	消化器系/内分泌系/栄養・代謝系 新生児・小児・思春期/加齢と老化、臨終								
	後期	セグメント6	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常3/ 医学研究									
4年	前期	セグメント7	全身的な変化と医学/ 医療と社会	全身的な変化/医学と社会								
	後期	セグメント8	臨床入門									
5年	前期	セグメント9	医療と医学の 実践	診療参加型臨床実習(研究実習)								
	後期											
6年	前期	セグメント10	全体統合・ 総合達成度評価	卒業試験								
	後期											

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

I セグメント 5 の学修内容

セグメント 5 は、「臓器・器官系の構造と機能、正常と異常」を中心テーマとして学修する。セグメント 4 から臨床科目が登場し、その続きで消化器系、内分泌・高血圧系、栄養・代謝系、新生児・小児・思春期、加齢と老化、臨終を学ぶことになる。

消化器系はヒトが生きていくのに必要な食物の消化と吸収、栄養・代謝系は吸収された物質の生体内における代謝、内分泌・高血圧系はそれらの総合的な調整と生体の恒常性の維持など極めて重要な臓器、病態を学ぶことになる。新生児・小児・思春期、加齢と老化、臨終は人間が成長し、年齢を重ねていくうえでの病態生理を学ぶこととなり人間の発達成長加齢の全体像を把握することとなる。

科目は 1、2 に区分され、1 では構造と機能、2 では正常と異常を学び、診断・治療・検査などにより臨床的な内容となっていく。統合カリキュラムの基本理念に沿い、各科目とも基礎的な事項と臨床的事項が相互に関連を有するようにカリキュラムは編成されている。

教育は、チュートリアルを柱としており、講義・実習がそれを補う。チュートリアルは統一課題として 5 課題を学修することとなる。セグメント 4 までに修得した自己学修能力をさらに発展させるとともに、「至誠と愛」の実践学修で培われた医師としての態度、人間愛などを基に、患者の社会的問題にも目を向けることができることを目標とする。

縦断科目においても、女性医師の地域における活躍、医学研究のすすめ、医学研究の最前線、医療対話の心理などを卒後研修や医師としてどのように生きていくかなどの重要な問題点にも目を向けている。

3 か月という短い期間に、重要な課題が目白押しであるので、学修の手引きに沿って計画的な自己学修を進めることで、十分な成果が得られることを期待する。

セグメント 5

臓器・器官系の構造と機能、正常と異常
／人の一生

2026 年 4 月 6 日 ～ 2026 年 7 月 17 日

Ⅱ 到達目標

A. 包括的到達目標

1. 消化器系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
 - 1) 構造と機能
 - 2) 診断と検査の基本
 - 3) 症候
 - 4) 疾患

2. 内分泌・高血圧系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
 - 1) 構造と機能
 - 2) 診断と検査の基本
 - 3) 症候
 - 4) 疾患

3. 栄養・代謝系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
 - 1) 構造と機能
 - 2) 診断と検査の基本
 - 3) 症候
 - 4) 疾患

4. 発生および出生前から思春期に至る小児の成長・発達・疾患について理解し説明することができる。
 - 1) 胎児
 - 2) 新生児
 - 3) 乳児・幼児・学童
 - 4) 思春期・青年期生殖器系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。

5. 細胞・臓器の加齢現象と加齢による臓器・機能の変化、高齢者に特有の疾患の特徴について説明することができる。
 - 1) 細胞数の減少、組織の萎縮
 - 2) 細胞の老化、組織の機能低下
 - 3) 加齢による臓器の構造と機能の変化
 - 4) 予備力の低下、高齢者に特有な疾患
 - 5) 老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）
 - 6) 高齢者の感情・意欲・性格の変化

6. 高齢者を診療する上での基本的な技能・態度、治療について説明することができる。

- 1) 多疾患合併、非定型的症状
- 2) 高齢者総合機能評価（CGA）
- 3) 検査値の加齢変化
- 4) リハビリテーション
- 5) 高齢者の食事・栄養療法
- 6) 高齢者の薬物療法

7. 高齢者の生活支援の要点、急速な高齢化に対応する社会の仕組み、末期医療、死について説明することができる。

- 1) 高齢者の疫学と医療対策
- 2) 在宅介護、在宅医療
- 3) 保健・医療・福祉・介護関連法規
- 4) 余命への配慮
- 5) 緩和ケア、ホスピス
- 6) 終末期ケア、看取り

B. 科目別シラバス

(★＝「至誠と愛」の実践学修)

科目名
内分泌・高血圧系
科目責任者(所属)
大月 道夫 渡辺 大輔

到達目標																														
<p>内分泌系は、生体における循環、体液量、電解質、代謝などのホメオスタシス維持や基本的な細胞の機能、増殖、個体の発育、成長に重要な役割を担っている。本系では、血圧調節機構と、代表的な内分泌器官である視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺などの機能（ホルモンの構造、合成、分泌調節機構、作用機序）と形態（解剖、病理）など基礎的事項を学修する。その上で、それらの異常（亢進、低下）による、高血圧や内分泌疾患に関して、臨床的事項（病因、病態生理、診断、治療）を学修する。また、成人のみならず小児における血圧・内分泌代謝異常についても学修する。更に、最近の学問の飛躍的な進歩により、血圧に関わる液性調節因子が広範な組織に影響を及ぼすことが明らかになっており、種々の病態が高血圧疾患や内分泌疾患としての側面を有することへの理解を深める。具体的には、講義と実習を通して習得する。</p>																														
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号																														
<table border="0"> <tr> <td>④ 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。</td> <td>I-1-A-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>④ 疾患、症候の病態を説明できる。</td> <td>I-1-A-(3-4)-④</td> </tr> <tr> <td>① 診断の過程を説明し実践できる。</td> <td>I-1-B-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。</td> <td>I-1-B-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。</td> <td>I-2-B-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。</td> <td>I-2-C-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>④ 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。</td> <td>I-3-A-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>④ 適切な診療ガイドラインを選択できる。</td> <td>I-3-A-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>④ 病態を明らかにする方法を挙げるができる。</td> <td>I-3-B-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>④ データ・結果の根拠を批判的に説明できる。</td> <td>I-5-A-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>② 倫理的問題を明らかにできる。</td> <td>I-6-B-(3-4)-②</td> </tr> </table>	④ 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	I-1-A-(3-4)-①	④ 疾患、症候の病態を説明できる。	I-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。	I-1-B-(3-4)-①	② 適切な治療法とその根拠を説明できる。	I-1-B-(3-4)-②	② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	I-2-B-(3-4)-②	② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②	④ 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①	④ 適切な診療ガイドラインを選択できる。	I-3-A-(3-4)-②	④ 病態を明らかにする方法を挙げるができる。	I-3-B-(3-4)-①	④ データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I-5-A-(3-4)-①	② 倫理的問題を明らかにできる。	I-6-B-(3-4)-②								
④ 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	I-1-A-(3-4)-①																													
④ 疾患、症候の病態を説明できる。	I-1-A-(3-4)-④																													
① 診断の過程を説明し実践できる。	I-1-B-(3-4)-①																													
② 適切な治療法とその根拠を説明できる。	I-1-B-(3-4)-②																													
② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	I-2-B-(3-4)-②																													
② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②																													
④ 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①																													
④ 適切な診療ガイドラインを選択できる。	I-3-A-(3-4)-②																													
④ 病態を明らかにする方法を挙げるができる。	I-3-B-(3-4)-①																													
④ データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I-5-A-(3-4)-①																													
② 倫理的問題を明らかにできる。	I-6-B-(3-4)-②																													
学修（教育）方法																														
講義・実習・TBL																														
<p>評価方法 (1)総括的評価の対象</p> <p>定期試験の成績（96％）と実習点（4％）を合計し、100％として評価する。実習点は態度および習熟度で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。</p>																														
<p>評価方法 (2)評価項目</p> <table border="0"> <tr> <td>②受容体による情報伝達の機序を説明できる。</td> <td>PS-01-02-05</td> </tr> <tr> <td>④生体の恒常性維持と適応を説明できる。</td> <td>PS-01-02-19</td> </tr> <tr> <td>②恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。</td> <td>PS-01-02-19</td> </tr> <tr> <td>③生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。</td> <td>PS-01-02-20</td> </tr> <tr> <td>①本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。</td> <td>PS-02-06-05,[別表]疾患</td> </tr> <tr> <td>②二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。</td> <td>PS-02-06-05,[別表]疾患</td> </tr> <tr> <td>④低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。</td> <td>[別表]疾患,PS-01-04-14</td> </tr> <tr> <td>④ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>②各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。</td> <td>[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>③視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>④甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>⑤副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>⑥膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>⑦男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。</td> <td>PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> <tr> <td>①ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。</td> <td>PS-02-14-02,[別表]内分泌・栄養・代謝系</td> </tr> </table>	②受容体による情報伝達の機序を説明できる。	PS-01-02-05	④生体の恒常性維持と適応を説明できる。	PS-01-02-19	②恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。	PS-01-02-19	③生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。	PS-01-02-20	①本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。	PS-02-06-05,[別表]疾患	②二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。	PS-02-06-05,[別表]疾患	④低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。	[別表]疾患,PS-01-04-14	④ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	②各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	[別表]内分泌・栄養・代謝系	③視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	④甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	⑤副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	⑥膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	⑦男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系	①ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。	PS-02-14-02,[別表]内分泌・栄養・代謝系
②受容体による情報伝達の機序を説明できる。	PS-01-02-05																													
④生体の恒常性維持と適応を説明できる。	PS-01-02-19																													
②恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。	PS-01-02-19																													
③生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。	PS-01-02-20																													
①本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。	PS-02-06-05,[別表]疾患																													
②二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。	PS-02-06-05,[別表]疾患																													
④低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。	[別表]疾患,PS-01-04-14																													
④ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
②各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
③視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
④甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
⑤副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
⑥膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
⑦男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													
①ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。	PS-02-14-02,[別表]内分泌・栄養・代謝系																													

②血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系
③ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。	PS-02-14-01,[別表]内分泌・栄養・代謝系
④ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。	PS-02-14-03
①低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。	[別表]内分泌・栄養・代謝系
①甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。	[別表]内分泌・栄養・代謝系
①Cushing病の病態と診断を説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
②先端巨大症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
③汎下垂体機能低下症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
④尿崩症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
⑤成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
⑥高プロラクチン血症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
⑦抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone <SIADH>)を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
②甲状腺炎(慢性・亜急性)を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
③甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
①カルシウム代謝の異常を疾患と関連付けて説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
②副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
③悪性腫瘍に伴う高Ca血症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
④偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
①Cushing症候群の病態、症候と診断を説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
②アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
③副腎不全(急性・慢性(Addison病))の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
④先天性副腎(皮質)過形成を概説できる。	[別表]疾患,PS-02-14-05
①甲状腺腫瘍を分類し、症候、病理所見、治療法を説明できる。	PS-02-14-05
②褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。	PS-02-14-05
③神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍(腎芽腫、胚芽腫、奇形腫)との鑑別点を説明できる。	PS-02-14-05

評価方法 (2)評価項目続き

評価方法 (3)評価基準
上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上 90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上 80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上 70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

試験問題に対する質問は、試験終了後速やかに(24時間以内に)、学年の代表がまとめて学務課まで文書で提出し、原則として1週間以内に科目責任者が回答する。質問の機会は1度であり、回答に対する再質問は行わない。

実務経験

○	大病院の内分泌内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う
---	---

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『レーンジャーの新生化学 第7版 上下』	Lehninger, AL	広川書店 2019	9784567244084 9784567244091
2.	『イラストレイテッド・ハーバー生化学原書30版』	Murry, RK	丸善 2016	9784621300978
3.	『標準組織学 各論』	藤田尚男	医学書院 2017	9784260024044
4.	『組織学』	伊藤隆	南山堂 2005	4525110198
5.	『カラーアトラス臨床内分泌病理診断学』	笹野伸昭	医歯薬出版 1994	4263208048

6.	『Endocrine pathology : differential diagnosis and molecular advances』	Lloyd, RV	Springer 2010	9781441910684
7.	『Endocrine diseases (Atlas of nontumor pathology 1st ser. Fasc.1)』	Lloyd, RV	AFIP 2002	1881041735
8.	『臨床医のための糖尿病病理』	八木橋操六	診断と治療社 2004	4787807358
9.	『アミロイドーシスの基礎と臨床』	池田修一	金原出版 2005	4307202139
10.	『甲状腺癌取り扱い規約（第9版）』	日本内分泌外科学会・日本甲状腺病理学会	金原出版 2023	9784307204668
11.	『副腎腫瘍取り扱い規約（第4版）』	日本泌尿器科学会/日本病理学会/日本医学放射線学会/日本内分泌学会/日本内分泌外科学会	メディカルビュー社 2025	4779228123
12.	『Williams textbook of endocrinology』	Melmed, S	W B Saunders 2016	9780323297387
13.	『Harrison's principles of internal medicine』		McGraw-Hill 2022	9781264285846
14.	『改定第9版内科学書 第5巻』	南学正臣	中山書店 2019	9784521747491
15.	『最新内分泌代謝学』	中尾一和	診断と治療社 2013	9784787819376
16.	『甲状腺・副甲状腺疾患診療ガイド：遺伝子解析も踏まえたQ&A』	佐藤幹二	総合医学社 2009	9784883783878
17.	『最新内分泌検査マニュアル』	東京女子医科大学内分泌疾患総合医療センター内科	日本医事新報社 2010	9784784953684
18.	『内分泌性高血圧（最新医学別冊 新しい診断と治療のABC 73/内分泌6）』		最新医学社 2012	
19.	『臨床高血圧ワークブック 1巻』	土橋卓也	医薬ジャーナル社 2012	9784753225613
20.	『臨床高血圧ワークブック 2巻』	土橋卓也	医薬ジャーナル社 2012	9784753225781
21.	『臨床高血圧ワークブック 3巻』	土橋卓也	医薬ジャーナル社 2013	9784753225965
22.	『高血圧治療ガイドライン 2019年版』	日本高血圧学会	日本高血圧学会 2019	9784897753867
23.	『内分泌外科 標準テキスト』	村井勝	医学書院 2006	4260002503
24.	『内分泌外科の要点と盲点』	小原孝男	文光堂 2007	9784830623233
25.	『標準外科学（第17版）』	北野正剛	医学書院 2025	9784260056601
26.	『小児科学』	大関武彦	医学書院 2008	9784260005128
27.	『講義録小児科学』	佐地勉	メジカルビュー社 2008	9784758300667
28.	『専門医による新小児内分泌疾患の治療』	横谷進	診断と治療社 2017	9784787819246
29.	『Williams textbook of endocrinology』	Melmed, S et al.	ELSEVIER 2025	9780323932301

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/06(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	1 内分泌系総論			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-2), D-12-3)			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/04/07(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 水溶性ホルモン			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/04/07(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	3 脂溶性ホルモン			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/04/07(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	4. 先端巨大症、成長ホルモン分泌不全			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(1), D-12-3)-(3), D-12-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/04/08(水)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	5. 高プロラクチン血症、その他の間脳下垂体腫瘍			

	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(3), D-12-4)-(1), D-12-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LM S)				5
6.	2026/04/14(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	6. 下垂体機能低下症			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(3), D-12-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				6
7.	2026/04/15(水)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	7. 尿崩症、SIADH			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				7
8.	2026/04/16(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	8. 甲状腺中毒症			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(2), D-12-4)-(2)			
	講義資料番号/連番(LM S)				8
9.	2026/04/16(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	9. 甲状腺機能低下症			
	担当者（所属）	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(2), D-12-4)-(2)			
	講義資料番号/連番(LM S)				9
1 0.	2026/04/21(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10. 甲状腺腫瘍			
	担当者（所属）	尾身 葉子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(2), D-12-4)-(10)			

	講義資料番号/連番(LMS)				10
1 1.	2026/04/21(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	11. Ca代謝異常 (1) (カルシウム代謝、副甲状腺機能低下症)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
1 2.	2026/04/22(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	29. 高血圧と液性調節 レニン-アンジオテンシン系 (原発性アルドステロン症を含む)			
	担当者 (所属)	渡辺 大輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(9)①⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
1 3.	2026/04/23(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	12. Ca代謝異常 (2) : 副甲状腺疾患 (副甲状腺機能亢進症)			
	担当者 (所属)	吉田 有策			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
1 4.	2026/04/23(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	13. 骨粗鬆症			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
1 5.	2026/04/27(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	26. 高血圧総論 (高血圧と遺伝学を含む)			
	担当者 (所属)	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(9)①③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
1 6.	2026/04/27(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40

	タイトル	30. 高血圧と液性調節 交感神経系 (褐色細胞腫・バラガングリオームを含む)		
	担当者(所属)	渡辺 大輔		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(9)①⑤		
	講義資料番号/連番(LM S)			16
1 7.	2026/04/28(火)	3 時限	講義	講義室 201 12:30-13:40
	タイトル	27. 高血圧診療ガイドラインに基づく診療、各種降圧薬の使用法		
	担当者(所属)	高野 倫嘉		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(9)①③		
	講義資料番号/連番(LM S)			17
1 8.	2026/04/28(火)	4 時限	講義	講義室 201 13:55-15:05
	タイトル	28. 二次性高血圧の鑑別		
	担当者(所属)	高野 倫嘉		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(9)①⑤		
	講義資料番号/連番(LM S)			18
1 9.	2026/04/28(火)	5 時限	講義	講義室 201 15:15-16:25
	タイトル	14. Cushing症候群 (Cushing病、Subclinical Cushing症候群を含む)		
	担当者(所属)	大月 道夫		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(1), D-12-4)-(4)		
	講義資料番号/連番(LM S)			19
2 0.	2026/05/08(金)	3 時限	実習	大実習室 1 12:30-13:40
	タイトル	4, 5 ホルモン定量		
	担当者(所属)	田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎 千村 崇彦 榎原 弘子		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)		
	講義資料番号/連番(LM S)			20
2 1.	2026/05/08(金)	4 時限	実習	大実習室 1 13:55-15:05

	タイトル	4, 5 ホルモン定量			
	担当者 (所属)	田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎 千村 崇彦 榎原 弘子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				21
2 2.	2026/05/14(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	24 小児の内分泌疾患			
	担当者 (所属)	立川 恵美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(1), D-12-4)-(1), D-12-4)-(2), D-12-4)-(3), D-12-4)-(4), D-12-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LM S)				22
2 3.	2026/05/14(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	25 小児の肥満、脂質代謝異常			
	担当者 (所属)	立川 恵美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-3)-(3), D-12-4)-(6)			
	講義資料番号/連番(LM S)				23
2 4.	2026/05/15(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	22 内分泌臓器の構造			
	担当者 (所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				24
2 5.	2026/05/15(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	23 内分泌臓器の構造			
	担当者 (所属)	石津 綾子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				25
2 6.	2026/05/15(金)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	1, 2, 3 内分泌臓器の構造			

	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				26
2 7.	2026/05/15(金)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 内分泌臓器の構造			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/05/15(金)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 内分泌臓器の構造			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				28
2 9.	2026/05/15(金)	6 時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 内分泌臓器の構造			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				29
3 0.	2026/05/26(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	15. 副腎偶発腫瘍、副腎悪性腫瘍			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				30
3 1.	2026/05/29(金)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	16. 先天性副腎過形成、性腺疾患			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				31
3 2.	2026/06/08(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	17. 原発性副腎皮質機能低下症			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				32
3 3.	2026/06/12(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	31 内分泌臓器の病理			
	担当者 (所属)	中澤 匡男			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				33
3 4.	2026/06/12(金)	3 時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	6, 7, 8 内分泌臓器の病理			
	担当者 (所属)	中澤 匡男			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				34

3 5.	2026/06/12(金)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	6, 7, 8 内分泌臓器の病理			
	担当者 (所属)	中澤 匡男			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				35
3 6.	2026/06/12(金)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	6, 7, 8 内分泌臓器の病理			
	担当者 (所属)	中澤 匡男			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				36
3 7.	2026/06/16(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	18. 多腺性内分泌疾患 (多発性内分泌腫瘍症、多腺性自己免疫症候群)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LM S)				37
3 8.	2026/06/30(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	19. その他の内分泌疾患 (IgG4関連内分泌疾患、免疫チェックポイント阻害薬などの薬剤性内分泌疾患など)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(1), D-12-4)-(2), D-12-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				38
3 9.	2026/07/02(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	20. 内分泌緊急症			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-2), D-12-3), D-12-4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				39
4 0.	2026/07/07(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	21. 周産期における内分泌疾患			
	担当者 (所属)	大月 道夫			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(1), D-12-4)-(2), D-12-4)-(3), D-12-4)-(4), D-12-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LM S)				40
4 1.	2026/07/14(火)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	内分泌・高血圧系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				41
4 2.	2026/07/14(火)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	内分泌・高血圧系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				42
4 3.	2026/07/14(火)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	内分泌・高血圧系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				43
4 4.	2026/08/18(火)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	内分泌・高血圧系 再試験 14:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				44
4 5.	2026/08/18(火)	5 時限	追・再試験	-	15:15-16:25
	タイトル	内分泌・高血圧系 再試験 14:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				45

科目名
栄養・代謝系
科目責任者(所属)
長尾 元嗣

到達目標

- I. 系統講義, 実習およびテュートリアル・TBLを通じて, 以下について説明できる
- 3 大栄養素の代謝経路とお互いの連関
 - 生体内の代謝調節機構
 - インスリン分泌とその作用
 - 糖尿病の病態, 診断, 病型, 急性・慢性合併症, 治療
 - 低血糖症の病態と主な疾患
 - 脂質異常症の病態と病型, 治療法
 - メタボリックシンドロームおよび肥満
- II. 系統講義を通じて, 以下について概説できる
- 糖原病
 - 先天性糖代謝異常症
 - 蛋白質・アミノ酸代謝異常
 - ビタミン欠乏, 過剰症
 - その他の代謝異常 (ミトコンドリア病, ペルオキシゾーム病, 重金属代謝異常, ライソゾーム病, ポルフィリア, アミロイドーシス)

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

疾患、症候の病態を説明できる。	I-1-A-(3-4)-④
診断の過程を説明し実践できる。	I-1-B-(3-4)-①
適切な治療法とその根拠を説明できる。	I-1-B-(3-4)-②
問題の科学的な重要性を評価できる。	I-2-B-(3-4)-①
基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	I-2-B-(3-4)-②
事例から自分の知らないことを発見できる。	I-2-C-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②
事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①
適切な診療ガイドラインを選択できる。	I-3-A-(3-4)-②
病態を明らかにする方法を挙げることができる。	I-3-B-(3-4)-①
適切な問題解決を行ったか検証できる。	I-3-C-(3-4)-①
医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	I-4-A-(3-4)-①
研究・実習・症例などの要約が作成できる。	I-4-B-(3-4)-①
学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①
自分の特性を活かして学修できる。	II-2-D-(3-4)-①
自分の選択・判断の根拠を説明できる。	II-4-A-(3-4)-①
討論・話し合いを促せる。	II-4-B-(3-4)-①
グループ目標達成のために行動できる。	II-4-C-(3-4)-①
学修する事例について医学の貢献を説明できる。	II-5-A-(3-4)-①
自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。	II-5-B-(3-4)-①
相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。	II-5-B-(3-4)-②

学修 (教育) 方法

講義・実習・テュートリアル・TBL

評価方法 (1) 総括的評価の対象	
定期試験(筆記試験)の成績を100%とし科目の評価点する。定期試験の受験資格として、授業に3分の2以上の出席が必要である。	
評価方法 (2) 評価項目	
・栄養、食育、食生活を説明できる。	B-1-5)②
・身体活動、運動を説明できる。	B-1-5)③
・Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティングおよび多因子遺伝を説明できる。	C-1-1)-(2)①
・進化の基本的な考え方を説明できる。	C-1-1)-(3)①
・酵素の機能と調節を説明できる。	C-2-5) ①

・解糖の経路と調節機構を説明できる。	C-2-5)②
・クエン酸回路を説明できる。	C-2-5)③
・電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。	C-2-5)④
・糖新生の経路と調節機構を説明できる。	C-2-5)⑤
・グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。	C-2-5)⑥
・脂質の合成と分解を説明できる。	C-2-5)⑧
・タンパク質の合成と分解を説明できる。	C-2-5)⑩
・ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。	C-2-5)⑫
・ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。	C-2-5)⑮
・ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。	C-4-1)④
・ネクロシスとアポトーシスの違いを説明できる。	C-4-2)③
・糖代謝異常の病態を説明できる。	C-4-3)①
・タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態を説明できる。	C-4-3)②
・脂質代謝異常の病態を説明できる。	C-4-3)③
・肥満に起因する代謝障害の病態を説明できる。	C-4-3)⑥
・閉塞性動脈硬化症とBuerger病の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(7)④
・主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex <TORCH>症候群）の病態を説明できる。	D-10-4)⑤
・ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	D-12-1)①
・各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。	D-12-1)②
・膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。	D-12-1)⑥
・糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。	D-12-1)⑨
・ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。	D-12-2)①
・血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。	D-12-2)②
・糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。	D-12-4)-(5)①
・糖尿病の急性合併症を説明できる。	D-12-4)-(5)②
・糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。	D-12-4)-(5)③
・糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。	D-12-4)-(5)④
・低血糖症を概説できる。	D-12-4)-(5)⑤
・血清タンパク質の異常を概説できる。	D-12-4)-(7)①
・ポルフィリアを概説できる。	D-12-4)-(9)②
・Wilson病を概説できる。	D-12-4)-(9)③
・糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。	D-13-4)-(1)⑥
・主な先天性疾患を列挙できる。	E-7-1)②
・新生児マススクリーニングを説明できる。	E-7-1)⑥
・小児の栄養上の問題点を列挙できる。	E-7-3)②
・小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。	E-7-3)⑦
・臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。	F-2-3)①
・小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑥
・病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。	F-2-3)⑦
・血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑧
・染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑨
・免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑩
・生体機能検査（心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑫
・動脈血ガス分析、経皮的酸素飽和度モニターの目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑭
・全身の外観（体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声）を評価できる。	F-3-5)-(2)⑦
・内分泌：糖尿病 甲状腺機能亢進症	G-2-4)
・内分泌・代謝：糖尿病	G-2-10)

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

筆記試験の点数を科目の評価点とする。

評価基準：S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

実務経験

○ 大学病院の糖尿病・代謝内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『糖尿病の治療マニュアル（第6版）』	東京女子医科大学糖尿病センタ ー	医歯薬出版 2012	978426323567 6
2.	『糖尿病治療ガイド 2024』	日本糖尿病学会	文光堂 2024	978483061401 9
3.	『糖尿病診療ガイドライン 2024』	日本糖尿病学会	南江堂 2024	978452420425 0
4.	『糖尿病の治療（第2版）』	平田幸正	文光堂 2003	978483061344 9
5.	『糖尿病と妊娠の医学（第3版） 糖尿病妊婦治療の歴史と展望』	大森安恵	文光堂 2020	978483061395 1
6.	『内科学（第12版）』	矢崎義雄	朝倉書店 2022	978425432280 4
7.	『ジョスリン糖尿病学（第2版）』	Kahn, CR	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2007	978489592464 1
8.	『Diabetes mellitus : a fundamental and clinical text (3TH)』	LeRoith, D	Lippincott Williams & Wilkins 2004	978078174097 5
9.	『ストライヤー生化学（第8 10版）』	Berg, JM	東京化学同人 2025	978480792077 8
10.	『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症（第2版）』	永田 智	MEDIC MEDIA 社 2018	978489632720 5
11.	『ネルソン小児科学（原著第22版）』	Kliegman RM	エルゼビア・ジャパン 2024	978032388305 4
12.	『標準小児科学（第9版）』	監修：原 寿郎 編集：高橋 孝雄 他	医学書院 2022	978426004781 4
13.	『コアカリ準拠 臨床遺伝学 テキストノート（改訂版第2版）』	編集：日本人類遺伝学会	診断と治療社 2024	978478782660 2
14.	『臨床遺伝専門医テキスト④各論Ⅲ 臨床遺伝学 成人領域』	監修：臨床遺伝専門医制度委員会 編集：矢部 一郎	診断と治療社 2021	978478782516 2
15.	『高齢者糖尿病塗料ガイド 2021』	編著：日本糖尿病学会 日本老年医学会	文光堂 2021	978483061398 2
16.	『小児・思春期糖尿病 コンセンサス・ガイドライン 2024』	編著：日本糖尿病学会 日本小児内分泌学会	南江堂 2024	978452420389 5

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/17(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1 糖尿病の概念、病型分類、診断、疫学			
	担当者（所属）	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)①②			

	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/04/21(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2 血糖調節とホルモン1(正常)			
	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-5)①③⑤⑥⑧⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/04/23(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	4 その他の特定機序、疾患による糖尿病			
	担当者(所属)	小林 浩子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-1-1)-(2)①,C-4-1)-②③④,D-12-4)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
4.	2026/05/12(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3 血糖調節とホルモン2(病態)			
	担当者(所属)	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-2)①②,D-12-1)①②⑥⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
5.	2026/05/20(水)	2 時限	実習	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1 Case Study (検査一般)			
	担当者(所属)	菅野 宙子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①,G-2-4),D-12-4)-(5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/05/26(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	7 脂質代謝、ビタミン欠乏・過剰			
	担当者(所属)	越野 一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-5)⑧②③⑬,C-4-3)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/05/26(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	8 肥満症・脂質異常症			

	担当者（所属）	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-4-3)③⑥,D-12-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				7
8.	2026/05/27(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9 糖尿病性神経障害			
	担当者（所属）	高山 真一郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				8
9.	2026/05/27(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10 糖尿病性眼合併症			
	担当者（所属）	丸子 留佳			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-5)③,D13-4)-1) ⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				9
10.	2026/05/29(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11 高乳酸血症、ミトコンドリア病、ペルオキシゾーム病			
	担当者（所属）	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-1-1)-(2)①,C-1-1)-(3)①,C-2-5)③④,C-4-1)④,C-4-2)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				10
11.	2026/06/02(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12 重金属代謝異常、ライソゾーム病			
	担当者（所属）	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-1-1)-(1)②-④,C-1-1)-(2)②,C-4-3)①-③⑤,D-12-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				11
12.	2026/06/09(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	6 糖尿病と妊娠			
	担当者（所属）	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-10-4)⑤,D-12-4)-(5)①			

	講義資料番号/連番(LMS)				12
1 3.	2026/06/09(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5 糖尿病の治療 (食事、運動、薬物療法)			
	担当者 (所属)	高木 聡			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)④,B-1-5)②③,F-3-5-(2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
1 4.	2026/06/10(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17 ポルフィリア、アミロイドーシス			
	担当者 (所属)	越野 一郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-2-5)②,D-12-4)-(9)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
1 5.	2026/06/15(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	18 糖尿病性大血管障害			
	担当者 (所属)	花井 豪			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(7)④,D-5-4)-(9)⑤,D-12-4)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
1 6.	2026/06/16(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	15 蛋白質、アミノ酸代謝異常			
	担当者 (所属)	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-4-3)②,D-12-4)-(7)①,E-7-1)②⑥,E-7-3)②⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
1 7.	2026/06/16(火)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	3 Case Study (医療面接、身体所見)			
	担当者 (所属)	小林 浩子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5) ①②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
1 8.	2026/06/16(火)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	16 糖尿病性腎症			

	担当者（所属）	花井 豪			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				18
1 9.	2026/06/22(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	13 急性合併症、低血糖症			
	担当者（所属）	三浦 順之助			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)②⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				19
2 0.	2026/06/22(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	14 1型・小児糖尿病			
	担当者（所属）	三浦 順之助			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-1)⑥,D-12-4)-(5)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				20
2 1.	2026/06/23(火)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	2 Case Study(食事、運動、薬物療法)			
	担当者（所属）	大屋 純子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-12-4)-(5)④,B-1-5)②③,F-3-5-(2)			
	講義資料番号/連番(LM S)				21
2 2.	2026/07/14(火)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	栄養・代謝系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				22
2 3.	2026/07/14(火)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	栄養・代謝系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				23
2 4.	2026/07/14(火)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	栄養・代謝系 試験 13:30-16:30 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24
2 5.	2026/08/19(水)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	栄養・代謝系 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
2 6.	2026/08/19(水)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	栄養・代謝系 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	長尾 元嗣			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26

科目名
消化器系 1
科目責任者(所属)
中井 陽介

到達目標
消化器疾患を学修するにあたり、その理解を深めるために講義と実習により消化器の形態と機能について学ぶ。消化器の正常構造では口腔、食道、胃、小腸、大腸などの消化管に加え、肝、胆道、膵の実質臓器の形態、局所解剖、脈管系を学修し、それぞれの臓器の組織構造を学ぶ。消化器の最も重要な生理機能は生命維持の基本である栄養の消化・吸収であるが、さらには吸収された栄養素も含めた全身的な代謝の理解が必要である。消化液分泌のメカニズム、その調節に果たす自律神経とホルモンの役割を学び、消化管運動についても学修し、これらの生理機能に基づいた消化器系薬剤の薬理作用を理解する。以上の消化器系の構造・機能の基礎的知識は、消化器系2：消化器疾患の病態の理解へと繋がる重要な学修である。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身の疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②</p> <p>基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-①</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-①</p>
学修（教育）方法
講義・実習・TBL
<p>評価方法</p> <p>(1)総括的評価の対象</p> <p>定期試験（筆記試験）の成績と実習点を総合して評価する。各評価対象の比重は定期試験（90%）、実習評価(10%)とする。ただし、定期試験を受験するには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。</p>
<p>評価方法</p> <p>(2)評価項目</p> <p>①各消化器の位置、形態と関係する血管を図示できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>②腹膜と臓器の関係を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>③食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>④消化管運動の仕組みを説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑤消化器に対する自律神経の作用を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑥肝の構造と機能を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑦胃液の作用と分泌機序を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑧胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑨膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑩小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑪大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑫主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑬歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑭咀嚼と嚥下の機構を説明できる。 PS-02-08-01,[別表]消化器系</p> <p>⑮消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。 PS-01-03-07,PS-02-08-01,[別表]消化器系</p>
<p>評価方法</p> <p>(2)評価項目続き</p>
<p>評価方法</p> <p>(3)評価基準</p> <p>上記の総括的評価の対象、および評価項目について期末試験にて点数化を行い、実習点（レポート・スケッチなど）と総合して評価する。</p> <p>評価基準：S.極めて良く理解している（90%以上）A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

-

実務経験

○ 大学病院の消化器内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『新臨床内科学（第10版）』	矢崎義雄 監	医学書院 2020	9784260038065
2.	『内科学（第12版）』	矢崎義雄 他 総編	朝倉書店 2022	9784254322804
3.	『標準外科学（第16版）』	北野正剛 監	医学書院 2022	9784260047821
4.	『胃と腸アトラスⅠ 上部消化管 第3版』	「胃と腸」編集委員会 編	医学書院 2025	9784260654326
5.	『胃と腸アトラスⅡ 下部消化管 第3版』	「胃と腸」編集委員会 編	医学書院 2025	9784260654333
6.	『標準薬理学 第8版』	飯野 正光 監	医学書院 2021	9784260041638
7.	『臨床薬理学 第4版』	一般社団法人 日本臨床薬理学会 編	医学書院 2017	9784260028738
8.	『NEW薬理学改訂第8版』	田中千賀子 他編	南江堂 2025	9784524233779
9.	『グッドマン・ギルマン薬理書 下：薬物治療の基礎と臨床』	ルース・S. グッドマン 編	廣川書店 2013	9784567498012
10.	『薬がみえる vol.3 第2版』	医療情報科学研究所 編	南江堂 2023	9784896329209
11.	『ジュンケイラ組織学 第6版』	Anthony L.Mescher [著] 坂井建雄, 川上速人, 竹田扇 監訳 青山裕彦 [ほか] [訳]	丸善出版 2024	9784621308851
12.	『標準組織学総論 第6版』	藤田尚男, 藤田恒夫 原著	医学書院 2022	9784260043496
13.	『カラー図解人体の正常構造と機能 改訂第5版 全10巻縮刷版』	坂井建雄, 河原克雅 総編	日本医事新報社 2025	9784784931828
14.	『Ross組織学』	Wojciech Pawlina 著 内山安男, 相磯貞和 監訳	南江堂 2019	9784524259298

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/06(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	1 消化液の分泌と作用			

	担当者（所属）	越野 一郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑦⑧⑨⑫			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/04/09(木)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 口腔咽頭組織			
	担当者（所属）	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑬			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/04/09(木)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	3 口腔咽頭組織			
	担当者（所属）	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑭			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/04/09(木)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	1, 2, 3 口腔咽頭組織			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑮			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/04/09(木)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 口腔咽頭組織			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑯			
	講義資料番号/連番(LM S)				

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/04/09(木)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 口腔咽頭組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/04/10(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4 消化と吸収			
	担当者 (所属)	伊豆原 郁月			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1)③⑤⑦⑨⑩⑫⑮,D-7-4)-(2)⑥,D-7-4)-(3)⑪			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/04/13(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 消化管組織			
	担当者 (所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(2)①,D-5-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/04/13(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	6 消化管組織			
	担当者 (所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/04/13(月)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	4, 5, 6 消化管組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子			

		横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				10
1 1.	2026/04/13(月)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	4, 5, 6 消化管組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				11
	2026/04/13(月)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
1 2.	タイトル	4, 5, 6 消化管組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				12
	2026/04/17(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	7 消化管の運動			
1 3.	担当者 (所属)	伊豆原 郁月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)③④⑤⑪⑫⑭,D-7-3)-(2)⑤,D-7-4)-(3)⑪			
	講義資料番号/連番(LM S)				13
	2026/04/17(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	8 消化管ホルモンの分泌と作用			
1 4.	担当者 (所属)	伊豆原 郁月			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)③⑦⑧⑫			
	講義資料番号/連番(LM S)				14
1 5.	2026/04/17(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9 胆道系・膵機能			
	担当者 (所属)	伊豆原 郁月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				15
1 6.	2026/04/20(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	10 肝胆膵組織			
	担当者 (所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②⑥⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				16
1 7.	2026/04/20(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11 肝胆膵組織			
	担当者 (所属)	菊田 幸子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②⑥⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				17
1 8.	2026/04/20(月)	3 時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	7, 8, 9 肝胆膵組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②⑥⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				18
1 9.	2026/04/20(月)	4 時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	7, 8, 9 肝胆膵組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子			

		石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②⑥⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)			19	
2 0.	2026/04/20(月)	5 時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	7, 8, 9 肝胆膵組織			
	担当者 (所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野 駒井 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②⑥⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)			20	
2 1.	2026/04/22(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	12 消化管作用薬			
	担当者 (所属)	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(2)①③			
	講義資料番号/連番(LM S)			21	
2 2.	2026/04/27(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	13 消化管局所解剖 (食道)			
	担当者 (所属)	前田 新介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)③			
	講義資料番号/連番(LM S)			22	
2 3.	2026/04/27(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	14 消化管局所解剖 (胃)			
	担当者 (所属)	伊藤 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑧⑨⑩⑫⑮			
	講義資料番号/連番(LM S)			23	

2 4.	2026/04/27(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	15 消化管局所解剖 (大腸)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				24
2 5.	2026/05/25(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	16 肝胆膵局所解剖 (肝)			
	担当者 (所属)	本田 五郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①⑧			
	講義資料番号/連番(LM S)				25
2 6.	2026/06/05(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17 肝胆膵局所解剖 (胆)			
	担当者 (所属)	川本 裕介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				26
2 7.	2026/06/25(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	18 肝胆膵作用薬			
	担当者 (所属)	松浦 勝久			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①④			
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/06/25(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	19 肝胆膵局所解剖 (膵)			
	担当者 (所属)	樋口 亮太			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				28
2 9.	2026/07/16(木)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	消化器系 1 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				29
3 0.	2026/07/16(木)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	消化器系 1 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				30
3 1.	2026/07/16(木)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	消化器系 1 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				31
3 2.	2026/08/21(金)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	消化器系 1 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				32
3 3.	2026/08/21(金)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	消化器系 1 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				33
3 4.	2026/08/21(金)	5 時限	追・再試験	-	15:15-16:25
	タイトル	消化器系 1 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				34

科目名
消化器系2
科目責任者(所属)
山口 茂樹

到達目標
消化器系1にて正状構造と機能を十分に理解し、次に症候、腹部診察、検体検査、画像を学び、最後に消化器疾患について学修する。講義・実習・テュートリアル3者で時間が組まれており、相互に密な関連を持つようにカリキュラムが組まれている。 消化器系の疾患は多彩であるが、主に消化管、肝胆膵と分けて、構造・病態学を学ぶことで、疾患理解が深まる。 疾患に対する基本的な考え方をこの期間に修得して頂きたい。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>問題の科学的な重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-①</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-①</p>
学修（教育）方法
講義・実習・テュートリアル・TBL
評価方法 (1)総括的評価の対象
定期試験の成績を100%とし、科目の評価点とする。定期試験の受験資格として、授業に3分の2以上の出席が必要である。
評価方法 (2)評価項目
<p>①各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 D-7-1)</p> <p>②腹膜と臓器の関係を説明できる。 D-7-1)</p> <p>③食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 D-7-1)</p> <p>④消化管運動の仕組みを説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑤消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑥肝の構造と機能を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑦胃液の作用と分泌機序を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑧胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑨膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑩小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑪大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑫主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑬歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑭咀嚼と嚥下の機構を説明できる。 D-7-1)</p> <p>⑮消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。 D-7-1)</p> <p>①代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。 D-7-2)</p> <p>②消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（α-fetoprotein (AFP)、carcinoembryonic antigen (CEA)、carbohydrate antigen (CA) 19-9、protein induced by vitamin K D-7-2)</p> <p>③消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。 D-7-2)</p> <p>④消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。 D-7-2)</p> <p>⑤生検と細胞診の意義と適応を説明できる。 D-7-2)</p> <p>①肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。 D-7-3)-(1)</p> <p>②肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。 D-7-3)-(1)</p> <p>①黄疸 D-7-3)-(2)</p>

②腹痛	D-7-3)-(2)
③悪心・嘔吐	D-7-3)-(2)
④食思(欲)不振	D-7-3)-(2)
⑤便秘・下痢・血便	D-7-3)-(2)
⑥吐血・下血	D-7-3)-(2)
⑦腹部膨隆(腹水を含む)・膨満・腫瘍	D-7-3)-(2)
①食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。	D-7-4)-(1)
②胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease (GERD))と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。	D-7-4)-(1)
③Mallory-Weiss症候群を概説できる。	D-7-4)-(1)
①胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(2)
②Helicobacter pylori感染症の診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(2)
③胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。	D-7-4)-(2)
④急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(2)
⑤急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。	D-7-4)-(2)
⑥胃切除後症候群の病態生理を説明できる。	D-7-4)-(2)
⑦機能的消化管障害(機能的ディスぺプシア(functional dyspepsia (FD)))を説明できる。	D-7-4)-(2)
⑧肥厚性幽門狭窄症を概説できる。	D-7-4)-(2)
①急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(3)
②腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(3)
③炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn病)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(3)
④痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。	D-7-4)-(3)
⑤機能的消化管障害(過敏性腸症候群)を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑥腸管憩室症(大腸憩室炎と大腸憩室出血)を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑦薬物性腸炎を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑧消化管ポリポスを概説できる。	D-7-4)-(3)
⑨大腸の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung病)を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑩腸重積症を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑪便秘症、乳児下痢症を説明できる。	D-7-4)-(3)
⑫感染性腸炎を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑬虚血性大腸炎を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑭急性出血性直腸潰瘍を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑮上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑯消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor (NET))を概説できる。	D-7-4)-(3)
⑰消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor (GIST))を概説できる。	D-7-4)-(3)
①胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(4)
②胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。	D-7-4)-(4)
③胆嚢ポリープを概説できる。	D-7-4)-(4)
④先天性胆道拡張症と臍・胆管合流異常症を概説できる。	D-7-4)-(4)
①A型・B型・C型・D型・E型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。	D-7-4)-(5)
②急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。	D-7-4)-(5)
③急性肝不全の概念、診断を説明できる。	D-7-4)-(5)
④肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(5)
⑤肝硬変の合併症(門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌)を概説できる。	D-7-4)-(5)
⑥アルコール性肝障害を概説できる。	D-7-4)-(5)
⑦薬物性肝障害を概説できる。	D-7-4)-(5)
⑧肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(5)
⑨原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。	D-7-4)-(5)
⑩自己免疫性肝炎を概説できる。	D-7-4)-(5)
⑪脂肪性肝疾患を概説できる。	D-7-4)-(5)
①急性膵炎(アルコール性、胆石性、特発性)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(6)
②慢性膵炎(アルコール性、特発性)の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。	D-7-4)-(6)
③自己免疫性膵炎を概説できる。	D-7-4)-(6)
①腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(7)
②ヘルニアの概念、病態(滑脱、嵌頓、絞扼)と好発部位を説明できる。	D-7-4)-(7)
③鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(7)
①食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。	D-7-4)-(8)
②食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。	D-7-4)-(8)
③胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。	D-7-4)-(8)
④胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑤胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。	D-7-4)-(8)
⑥大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑦大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑧胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑨原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑩膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑪嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。	D-7-4)-(8)
⑫腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍(GIST)、消化管カルチノイドを概説できる。	D-7-4)-(8)

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法 (3)評価基準				
評価は講義・実習態度、レポート、試験の結果を総合的に判断し行う。上記の評価項目について定期試験にて点数化を行い、科目の評価点とする。C以上を合格とする。 評価基準：S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）				
事前・事後学修				
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。				
伝達事項				
-				
実務経験				
○ 大学病院の消化管外科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う				
教科書・参考図書				
No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準外科学 第16版』	田邊 稔 / 池田 徳彦 / 大木 隆生	医学書院 2022	9784260047821
2.	『胃と腸アトラス I・II』	胃と腸編集委員会	医学書院 2014	9784260017466,9784260017473
3.	『消化器病診療』	消化器病診療編集委員会	日本消化器病学会 2014	9784260020169
4.	『消化器疾患最新の治療2023-2024』	山本博徳/瀬戸泰之/吉治仁志	南江堂 2022	9784524233670
5.	『消化管内視鏡診断テキスト I 食道・胃・十二指腸第5版』	藤城光弘	文光堂 2025	9784830621222
6.	『消化管内視鏡診断テキスト II 小腸・大腸第5版』	藤城光弘	文光堂 2025	9784830621239
7.	『内科学 第12版』	矢崎義雄	朝倉書店 2022	9784254322804
8.	『消化器内視鏡ハンドブック改訂第3版』	日本消化器内視鏡学会	医学図書出版 2024	9784865175783
9.	『実況カンファレンス 胆膵診療エキスパートの“勘どころ”』	中井陽介 / 木暮宏史	文光堂 2025	9784830621215
関連リンク				
添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK				

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/06(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	1 消化器疾患概論			
	担当者（所属）	中村 真一			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/04/06(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2 検体 生理生体検査			
	担当者 (所属)	谷合 麻紀子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-2)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/04/08(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3 胃十二指腸潰瘍			
	担当者 (所属)	岸野 真衣子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦,D-7-2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/04/08(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 消化器疾患の診断学・症候学腫瘍学 総論			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-3)-(2)①②③④⑤⑥⑦,D-7-2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/04/10(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 消化管内視鏡診断 胃炎・急性胃粘膜障害機能性胃腸症			
	担当者 (所属)	野中 康一			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1),D-7-2),D-7-4)-(2),F-2-6)			
	講義資料番号/連番(LM S)				5
6.	2026/04/14(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	6 口腔腫瘍・口腔感染症			
	担当者 (所属)	岡本 俊宏			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1),E-3-5)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				6

7.	2026/04/14(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	7 先天疾患・咬合異常			
	担当者（所属）	古賀 陽子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1),D-14-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LM S)				7
8.	2026/04/14(火)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	8 消化器外科総論、腫瘍学総論			
	担当者（所属）	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-3-3)			
	講義資料番号/連番(LM S)				8
9.	2026/04/16(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	10 消化管感染症			
	担当者（所属）	岸野 真衣子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)④⑮			
	講義資料番号/連番(LM S)				9
10.	2026/04/16(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	9 胃粘膜下腫瘍 消化管神経内分泌腫瘍			
	担当者（所属）	伊藤 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8)			
	講義資料番号/連番(LM S)				10
11.	2026/04/21(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11 炎症性腸疾患1			
	担当者（所属）	米澤 麻利亞			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-2)④,D-7-3)-(2)⑤,D-7-4)-(3)③⑫⑬⑭			
	講義資料番号/連番(LM S)				11
12.	2026/04/21(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	12 炎症性腸疾患2			
	担当者（所属）	米澤 麻利亞			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-2)④,D-7-3)-(2)⑤,D-7-4)-(3)③⑫⑬⑭			
	講義資料番号/連番(LM S)				12
1 3.	2026/04/22(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	13 食道疾患			
	担当者 (所属)	太田 正穂			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(1)①②③,D-7-4)-(8)①②,E-3-5)⑦,G-2-16),G-2-19)			
	講義資料番号/連番(LM S)				13
1 4.	2026/04/24(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14 消化不良症候群・蛋白漏出性胃腸症			
	担当者 (所属)	谷 亜由美			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				14
1 5.	2026/04/24(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15 小腸疾患の診断と治療			
	担当者 (所属)	大森 鉄平			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LM S)				15
1 6.	2026/04/24(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	16 上部消化管病理			
	担当者 (所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8)①③			
	講義資料番号/連番(LM S)				16
1 7.	2026/04/24(金)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1, 2, 3 上部消化管病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(2)①⑤,D-7-4)-(8)①③⑫			

	講義資料番号/連番(LMS)				17
1 8.	2026/04/24(金)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	1, 2, 3 上部消化管病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-4)-(2)①⑤,D-7-4)-(8)①③⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
1 9.	2026/04/24(金)	6 時限	実習	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	1, 2, 3 上部消化管病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-4)-(2)①⑤,D-7-4)-(8)①③⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
2 0.	2026/05/08(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	17 胃癌			
	担当者 (所属)	伊藤 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)③④⑤⑥,C-4-6)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
2 1.	2026/05/08(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	18 直腸肛門疾患			
	担当者 (所属)	腰野 蔵人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1),D-7-3)-(2),D-7-4)-(3),E-2-3),F-1-22),F-1-23),F-3-5)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
2 2.	2026/05/11(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	19 消化器疾患疫学			
	担当者 (所属)	中村 真一			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	B-1-3)①②③④⑤⑥⑦,B-1-4)①		
	講義資料番号/連番(LM S)	22		
2 3.	2026/05/12(火)	3 時限	講義	講義室 201 12:30-13:40
	タイトル	20 中下部消化管病理		
	担当者 (所属)	長嶋 洋治		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭,D-7-4)-(3)⑰,D-7-4)-(7)②③,D-7-4)-(8)⑥⑦		
	講義資料番号/連番(LM S)	23		
2 4.	2026/05/12(火)	4 時限	実習	講義室 201 13:55-15:05
	タイトル	4, 5, 6 中下部消化管病理		
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)①③⑧⑫,D-7-4)-(8)⑤		
	講義資料番号/連番(LM S)	24		
2 5.	2026/05/12(火)	5 時限	実習	講義室 201 15:15-16:25
	タイトル	4, 5, 6 中下部消化管病理		
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)①③⑧⑫,D-7-4)-(8)⑤		
	講義資料番号/連番(LM S)	25		
2 6.	2026/05/12(火)	6 時限	実習	講義室 201 16:35-17:45
	タイトル	4, 5, 6 中下部消化管病理		
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子		
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)①③⑧⑫,D-7-4)-(8)⑤		
	講義資料番号/連番(LM S)	26		

2 7.	2026/05/14(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	21 消化管血行障害・腸閉塞・ヘルニア			
	担当者 (所属)	前田 新介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/05/14(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	22 消化器画像・消化器IVR			
	担当者 (所属)	有泉 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)①③⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				28
2 9.	2026/05/18(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	23 肝疾患概論 肝臓の役割・黄疸の診断と鑑別			
	担当者 (所属)	谷合 麻紀子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-2-2)-(1)(2),C-3-2)-(1),C-4-2),C-4-6),D-1-1),D-1-2),D-1-3),D-3-4)-(4),D-5-3),D-7-1),D-7-3)-(1) (2),D-7-4)-(5)(8),E-5-2),F-1-1),F-1-25)			
	講義資料番号/連番(LM S)				29
3 0.	2026/05/19(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	24 肝機能とその異常 タンパク代謝			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-2-5)⑩,D-7-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				30
3 1.	2026/05/19(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	25 肝疾患病理			
	担当者 (所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(6)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				31
3 2.	2026/05/19(火)	3 時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	7, 8, 9 肝疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子			

		長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑧,D-7-4)-(8)⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				32
3 3.	2026/05/19(火)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	7, 8, 9 肝疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑧,D-7-4)-(8)⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				33
3 4.	2026/05/19(火)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	7, 8, 9 肝疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑧,D-7-4)-(8)⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				34
3 5.	2026/05/22(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	26 薬物性肝障害			
	担当者 (所属)	新井 誠人			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8)⑨,D-7-4)-(5)⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				35
3 6.	2026/05/25(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	27 胆道癌			
	担当者 (所属)	本田 五郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8)			
	講義資料番号/連番(LM S)				36

3 7.	2026/05/26(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	28 胆膵の画像・ERCP・先天性膵胆道疾患			
	担当者 (所属)	樋口 亮太			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				37
3 8.	2026/05/26(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	29 慢性膵炎			
	担当者 (所属)	高山 敬子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(6)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				38
3 9.	2026/05/28(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	30 肝硬変			
	担当者 (所属)	小木曾 智美			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-1-3)②③⑤⑦,D-5-3)⑨,D-7-3)-(2)①⑦,D-7-4)-(1)①,D-7-4)-(5)⑤,F-1-11)①②③,G-2-25			
	講義資料番号/連番(LM S)				39
4 0.	2026/05/29(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	31 消化管ポリープ・ポリポーシス・憩室			
	担当者 (所属)	番場 嘉子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LM S)				40
4 1.	2026/06/01(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	32 ウイルス性肝炎			
	担当者 (所属)	古市 好宏			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-2-5)②⑤⑥,D-7-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				41
4 2.	2026/06/01(月)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	33 急性肝炎・劇症肝炎			
	担当者 (所属)	鳥居 信之			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪,D-7-4)-(9)⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				42
4 3.	2026/06/02(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	34 急性膵炎 重症急性膵炎			
	担当者 (所属)	中井 陽介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(6)			
	講義資料番号/連番(LM S)				43
4 4.	2026/06/02(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	35 脂肪肝・アルコール性肝炎			
	担当者 (所属)	谷合 麻紀子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-2-1),B-1-4),B-1-5),C-2-5),C-4-1),C-4-3),F-2-11)			
	講義資料番号/連番(LM S)				44
4 5.	2026/06/05(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	36 胆のう結石・胆管結石・肝内結石・胆のう炎			
	担当者 (所属)	松永 雄太郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8)⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				45
4 6.	2026/06/05(金)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	37 膵癌 膵神経内分泌腫瘍			
	担当者 (所属)	古川 徹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(8),E-3-5)⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				46
4 7.	2026/06/08(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	38 急性腹症 虫垂炎,腹膜炎			
	担当者 (所属)	番場 嘉子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-3)-(2)			
	講義資料番号/連番(LM S)				47

4 8.	2026/06/09(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	39 胆膵疾患病理			
	担当者 (所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)(8)(9)(10)(11)			
	講義資料番号/連番(LM S)				48
4 9.	2026/06/09(火)	4 時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10, 11, 12 胆膵疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)①②,D-7-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				49
5 0.	2026/06/09(火)	5 時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	10, 11, 12 胆膵疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)①②,D-7-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				50
5 1.	2026/06/09(火)	6 時限	実習	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	10, 11, 12 胆膵疾患病理			
	担当者 (所属)	種田 積子 吉澤 佐恵子 長嶋 洋治 井藤 奈央子 関 敦子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)①②,D-7-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				51
5 2.	2026/06/10(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	40 肝移植			
	担当者 (所属)	小寺 由人			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	F-2-13)⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				52
5 3.	2026/06/15(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	41 自己免疫性膵炎			
	担当者(所属)	西野 隆義			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-4-6)⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				53
5 4.	2026/06/17(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	42 小児消化器疾患			
	担当者(所属)	山本 陽子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑤,C-2-3)-(4)④,E-7-3)⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				54
5 5.	2026/06/19(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	43 放射線治療口腔・消化器腫瘍・内分泌			
	担当者(所属)	川井 佐和			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-3-3),F-2-5)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				55
5 6.	2026/06/19(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	44 自己免疫性肝疾患			
	担当者(所属)	谷合 麻紀子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				56
5 7.	2026/06/23(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	45 膵嚢胞性疾患			
	担当者(所属)	川本 裕介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)			
	講義資料番号/連番(LM S)				57

5 8.	2026/06/23(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	46 肝機能とその異常 糖脂質代謝			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-1)⑥,D-7-3)-(2)①,D-7-4)-(5)⑥,C-2-5)⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				58
5 9.	2026/06/23(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	47 解毒・ビリルビン代謝			
	担当者 (所属)	越野 一郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(6)			
	講義資料番号/連番(LM S)				59
6 0.	2026/06/23(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	48 肝腫瘍 (良性悪性)・肝嚢胞			
	担当者 (所属)	片桐 聡			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(4)①②③,D-7-4)-(6)①②③,D-7-4)-(8)⑧⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				60
6 1.	2026/06/29(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	49 腫瘍内科学入門1			
	担当者 (所属)	近藤 俊輔			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-3-3)⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				61
6 2.	2026/06/29(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	50 腫瘍内科学入門2			
	担当者 (所属)	淵脇 麻紀子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(1),D-7-4)-(5)			
	講義資料番号/連番(LM S)				62
6 3.	2026/06/29(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	51 大腸癌			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	F-2-5) ③④,E-6-2) ③			
	講義資料番号/連番(LM S)				63
6 4.	2026/07/02(木)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	52 門脈圧亢進症			
	担当者 (所属)	中村 真一			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4 (1) ①,D-7-4 (5) ④⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				64
6 5.	2026/07/16(木)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	消化器系 2 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				65
6 6.	2026/07/16(木)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	消化器系 2 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				66
6 7.	2026/07/16(木)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	消化器系 2 試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				67
6 8.	2026/08/21(金)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	消化器系 2 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				68

6 9.	2026/08/21(金)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	消化器系 2 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				69
7 0.	2026/08/21(金)	5 時限	追・再試験	-	15:15-16:25
	タイトル	消化器系 2 再試験 13:00-16:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	山口 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				70

科目名
新生児・小児・思春期
科目責任者(所属)
石垣 景子

到達目標														
<p>学修の到達目標</p> <p>患者および家族との基本的な医療面接を行う事ができ、基本的診察、小児科特有の診察法について学修し、小児の主な成長・発達過程について理解する。診断に必要な情報を収集し、問題指向型診療録に適切な医学用語を用いて記載することができ、医療における職業人として基本的なマナーを守って行動することができる。</p> <p>行動目標</p> <p>出生から思春期に至る小児の生理的・神経学的・免疫学的発育を理解し、説明できる。</p> <p>各機能系の発達を理解し、説明できる。</p> <p>それぞれの時期で起こりやすい問題、異常、疾患などについて親子関係を含む環境、社会との関連も含め理解し考える事ができる。</p>														
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号														
<table border="0"> <tr> <td>1) 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる</td> <td>I-1-A-(3-4)-③</td> </tr> <tr> <td>2) 疾患、症候の病態を説明できる。</td> <td>I-1-A-(3-4)-④</td> </tr> <tr> <td>3) 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。</td> <td>I-2-B-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>4) 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。</td> <td>I-3-B-(3-4)-②</td> </tr> <tr> <td>5) 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。</td> <td>I-4-A-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>6) 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。</td> <td>I-4-C-(3-4)-①</td> </tr> <tr> <td>7) 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。</td> <td>II-2-C-(3-4)-①</td> </tr> </table>	1) 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる	I-1-A-(3-4)-③	2) 疾患、症候の病態を説明できる。	I-1-A-(3-4)-④	3) 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	I-2-B-(3-4)-②	4) 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	I-3-B-(3-4)-②	5) 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	I-4-A-(3-4)-①	6) 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①	7) 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①
1) 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる	I-1-A-(3-4)-③													
2) 疾患、症候の病態を説明できる。	I-1-A-(3-4)-④													
3) 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	I-2-B-(3-4)-②													
4) 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	I-3-B-(3-4)-②													
5) 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	I-4-A-(3-4)-①													
6) 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①													
7) 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①													
学修（教育）方法														
講義・実習・TBL														
<p>評価方法</p> <p>(1)総括的評価の対象</p> <p>定期試験（筆記試験）の点数を80%、講義および実習の出席や態度・レポート評価を20%で評価する。ただし、定期試験を受けるのは当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。</p>														
<p>評価方法</p> <p>(2)評価項目</p> <table border="0"> <tr> <td>診断に必要な情報を収集し、問題指向型診療録に適切な医学用語を用いて記載することができる。</td> <td>F-03-01-①②③④</td> </tr> <tr> <td>患者および家族との基本的な医療面接を行う事ができる。</td> <td>F-03-02-①②③</td> </tr> <tr> <td>医療における職業人として基本的なマナーを守って行動することができる。</td> <td>F-03-05-①②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>基本的診察、小児科特有の診察法を行う事ができる。</td> <td>F-03-08-①②③④⑤⑥</td> </tr> <tr> <td>出生から思春期に至る小児の生理的・神経学的・免疫学的発育、各機能系の発達を理解し、正常、異常の正しい判断と発育、発達の異常を呈する病態や疾患を挙げることができる。</td> <td>E-07-01-①～⑩、 E-07-02-①～④ E-07-03-①～⑧ E-07-04-①～③</td> </tr> <tr> <td>出生から思春期に至る小児のそれぞれの時期で起こりやすい問題、異常、疾患などを親子関係を含む環境、社会との関連も含め理解し考える事ができる。</td> <td>E-07-04-①～③</td> </tr> </table>	診断に必要な情報を収集し、問題指向型診療録に適切な医学用語を用いて記載することができる。	F-03-01-①②③④	患者および家族との基本的な医療面接を行う事ができる。	F-03-02-①②③	医療における職業人として基本的なマナーを守って行動することができる。	F-03-05-①②③④⑤⑥	基本的診察、小児科特有の診察法を行う事ができる。	F-03-08-①②③④⑤⑥	出生から思春期に至る小児の生理的・神経学的・免疫学的発育、各機能系の発達を理解し、正常、異常の正しい判断と発育、発達の異常を呈する病態や疾患を挙げることができる。	E-07-01-①～⑩、 E-07-02-①～④ E-07-03-①～⑧ E-07-04-①～③	出生から思春期に至る小児のそれぞれの時期で起こりやすい問題、異常、疾患などを親子関係を含む環境、社会との関連も含め理解し考える事ができる。	E-07-04-①～③		
診断に必要な情報を収集し、問題指向型診療録に適切な医学用語を用いて記載することができる。	F-03-01-①②③④													
患者および家族との基本的な医療面接を行う事ができる。	F-03-02-①②③													
医療における職業人として基本的なマナーを守って行動することができる。	F-03-05-①②③④⑤⑥													
基本的診察、小児科特有の診察法を行う事ができる。	F-03-08-①②③④⑤⑥													
出生から思春期に至る小児の生理的・神経学的・免疫学的発育、各機能系の発達を理解し、正常、異常の正しい判断と発育、発達の異常を呈する病態や疾患を挙げることができる。	E-07-01-①～⑩、 E-07-02-①～④ E-07-03-①～⑧ E-07-04-①～③													
出生から思春期に至る小児のそれぞれの時期で起こりやすい問題、異常、疾患などを親子関係を含む環境、社会との関連も含め理解し考える事ができる。	E-07-04-①～③													
<p>評価方法</p> <p>(2)評価項目続き</p>														
<p>評価方法</p> <p>(3)評価基準</p> <p>定期試験等を100点満点にて点数化する。S.極めて良く理解している（90-100）、A.良く理解している（80-89）、B.平均的に理解している（70-79）、C.最低限は理解している（60-69）、D.理解が不十分である（0-59）、いずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>														
事前・事後学修														
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。														
伝達事項														

形成的評価（最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって実習（レポートを含む）やTBLの際に随時行うので、学修のヒントにしていきたい。

実務経験

○ 大学病院の小児科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『ネルソン小児科学(原書19版)』	衛藤義勝	エルゼビア・ジャパン 2015	9784860342937
2.	『標準小児科学（第9版）』	原寿郎	医学書院 2022	978-4-260-04781-4
3.	『ベッドサイドの小児神経・発達の診かた』	桃井真理子	南山堂 2017	9784525285548
4.	『新生児学入門』	仁志田博司	医学書院 2018	9784260036252
5.	『Avery's Diseases of the Newborn, 11th Edition』	Christine A. Gleason	Elsevier 2018	978-0-323-82823-9
6.	『Assessment and care of the fetus : physiological, clinical...』	Robert D. Eden	Appleton & Lange 1992	978-0838504369
7.	『JRC蘇生ガイドライン2025』	日本蘇生協議会	医学書院 2026	
8.	『Remington and Klein's Infectious Diseases of the Fetus and Newborn Infant』	Jack S. Remington	Saunders 2025	978-0-323-79525-8
9.	『病気がみえる vol.6』	永田智 ほか	メディックメディア 2018	978-4-89632-720-5
10.	『新生児学テキスト』	日本新生児育成医学会	メディカ出版 2018	978-4-8404-6847-3
11.	『NCPR新生児蘇生法テキスト第4版』	細野茂春編	メジカルビュー 2021	978-4-7583-1998-0
12.	『レビューブック小児科2022-2023』	永田智 ほか	メディックメディア 2022	978-4-89632-879-0
13.	『小児血液・腫瘍学 改訂第2版』	[編集]日本小児血液・がん学会	診断と治療社 2022	9784787824899
14.	『スタンダード小児がん手術、臓器別アプローチと手技のポイント』	[編集]田口智章、黒田達夫	メジカルビュー 2017	9784758304658
15.	『病気がみえる vol.15 小児科』	永田智 ほか	メディックメディア 2022	978-4-89632-878-3
16.	『小児科学（第11版）』	加藤元博（編）	文光堂 2023	978-4-8306-3046-0

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/28(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1. 小児代謝疾患			

	担当者（所属）	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-4-3)①-⑥,D-12-4)-(5)①-⑤,D-12-4)-(6)①,D-12-4)-(8)①,D-12-4)-(9)②③,E-7-1)②,E-7-3)②⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/04/28(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2. 小児の救急医療			
	担当者（所属）	伊藤 進			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-3-1)⑥,D-5-3)⑩,E-2-3)①,E-4-2)①,E-7-2)④,F-1-5)①,②,③,F-1-6)①,②,③			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/05/13(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3. 小児の感染症①			
	担当者（所属）	岸 崇之			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(5)①,E-2-2)②,E-2-4)-(1)①②③④⑤⑦⑧,E-2-4)-(5)①③,E-7-3)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/05/13(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4. 先天異常			
	担当者（所属）	山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-1)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/05/13(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	5. 新生児の特徴			
	担当者（所属）	垣内 五月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-1)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				5
6.	2026/05/13(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	6. 新生児、早産児 1			
	担当者（所属）	垣内 五月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-1)①③⑦⑧⑨			

	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/05/14(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	7. 小児の遺伝子疾患			
	担当者 (所属)	松尾 真理			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-1)②③④⑤⑥⑦,C-4-6)②,E-1-1)②③④⑤⑥⑦,E-7-1)②,E-7-3)⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/05/21(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	8. 小児の筋疾患			
	担当者 (所属)	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-1)②,E-7-2)②,E-7-3)⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/05/27(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	9. 母子保健、学校保健			
	担当者 (所属)	山本 郁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/05/27(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	10. 小児の予防接種と感染予防			
	担当者 (所属)	山本 郁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2026/06/02(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11. 小児の呼吸器疾患			
	担当者 (所属)	鈴木 悠貴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)①②⑥,D-6-4)-(3)③,D-6-4)-(7)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2026/06/03(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	12. 新生児、早産児2, 新生児医療と保健対策			

	担当者（所属）	垣内 五月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-1)⑤⑥⑦⑧⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				12
1 3.	2026/06/03(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	13. 新生児医療と倫理			
	担当者（所属）	垣内 五月			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-1)②⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				13
1 4.	2026/06/03(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	14. 小児の栄養・消化器・肝疾患			
	担当者（所属）	山本 陽子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-3)-(2)⑤,D-7-4)-(2)⑤,D-7-4)-(3)⑩⑪⑫,E-7-2)③,E-7-3)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				14
1 5.	2026/06/04(木)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	15. 免疫アレルギー疾患			
	担当者（所属）	鈴木 悠貴			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-4-3)-(5) (6)			
	講義資料番号/連番(LM S)				15
1 6.	2026/06/05(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	16. 小児の水・電解質・尿細管異常			
	担当者（所属）	白井 陽子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-8-1)①⑥,D-8-3)-(3)①,D-8-4)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				16
1 7.	2026/06/15(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	17. 小児の腎・泌尿器疾患			
	担当者（所属）	三浦 健一郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-8-2)①②③④,D-8-4)-(1)①②③④⑤⑥,D-8-4)-(2)①②③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				17
1 8.	2026/06/17(水)	3 時限	講義	-	12:30-13:40
	タイトル	18. 小児の法医学、児童虐待 ※収録配信なし 講義室201			
	担当者(所属)	木林 和彦			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)④,E-7-3)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
1 9.	2026/06/18(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	19. 小児の感染症②			
	担当者(所属)	岸 崇之			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-2-4)-(2)②③⑥⑧⑨⑬,E-4-3)-(5)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
2 0.	2026/06/19(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	20. 小児の成長・発達①			
	担当者(所属)	佐藤 孝俊			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
2 1.	2026/06/19(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	21. 小児の成長・発達②			
	担当者(所属)	佐藤 孝俊			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
2 2.	2026/06/19(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	22. 児童精神			
	担当者(所属)	小平 かやの			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-3)⑤⑥⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
2 3.	2026/06/24(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	23. 思春期の成長発達			

	担当者（所属）	立川 恵美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-4)①②③			
	講義資料番号/連番(LM S)				23
2 4.	2026/06/24(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	24. 小児の血液、腫瘍疾患①			
	担当者（所属）	鶴田 敏久			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-1-1)②⑥⑦⑧,D-1-2)①②,D-1-4)-(1)①②③④,D-1-4)-(2)①②③			
	講義資料番号/連番(LM S)				24
2 5.	2026/06/24(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	25. 小児の血液、腫瘍疾患②			
	担当者（所属）	鶴田 敏久			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-1-4)-(4)①②⑥⑧,E-3-1)①②③,E-3-2) ①②③,E-3-3)①②③④⑥⑦,E-3-5)④⑫⑭			
	講義資料番号/連番(LM S)				25
2 6.	2026/06/24(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	26. 小児のトランスレーショナルリサーチ			
	担当者（所属）	鶴田 敏久			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-1-1,2,3,A-2-1,A-6-1,A-8-1,B-1-3			
	講義資料番号/連番(LM S)				26
2 7.	2026/07/06(月)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	27. 小児外科①			
	担当者（所属）	世川 修			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(2)⑧,D-7-4)-(3)①②⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/07/06(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	28. 小児外科②			
	担当者（所属）	世川 修			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(2)⑧,D-7-4)-(3)①②⑨⑩			

	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2026/07/07(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	29. 小児外科③			
	担当者 (所属)	世川 修			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-4)-(2)⑧,D-7-4)-(3)①②⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2026/07/09(木)	2 時限	実習	スキルスラボ	10:25-11:35
	タイトル	1、診察の実技			
	担当者 (所属)	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2026/07/09(木)	3 時限	実習	スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	2、小児のBLSと救急、誤嚥、誤飲などの救急処置			
	担当者 (所属)	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				31

3 2.	2026/07/09(木)	4 時限	実習	スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	1、診察の実技			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				32
3 3.	2026/07/09(木)	5 時限	実習	スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	2、小児のBLSと救急、誤嚥、誤飲などの救急処置			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				33
3 4.	2026/07/10(金)	2 時限	実習	スキルスラボ	10:25-11:35
	タイトル	1、診察の実技			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊			

		山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)	34			
3 5.	2026/07/10(金)	3時限	実習	スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	2、小児のBLSと救急、誤嚥、誤飲などの救急処置			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)	35			
3 6.	2026/07/10(金)	4時限	実習	スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	1、診察の実技			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)	36			

3 7.	2026/07/10(金)	5 時限	実習	スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	2、小児のBLSと救急、誤嚥、誤飲などの救急処置			
	担当者（所属）	立川 恵美子 伊藤 進 石垣 景子 岸 崇之 中務 秀嗣 七字 美延 柳下 友映 佐藤 友哉 石黒 久美子 佐藤 孝俊 山本 陽子 木原 祐希 大川 拓也 橋詰 拓摩 小川 優里子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-7-2)①②③ E-7-3)①⑦ E-7-4)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				37
3 8.	2026/07/15(水)	3 時限	試験	-	12:30-13:40
	タイトル	新生児・小児・思春期 試験 13:30-15:30 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				38
3 9.	2026/07/15(水)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	新生児・小児・思春期 試験 13:30-15:30 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				39
4 0.	2026/07/15(水)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	新生児・小児・思春期 試験 13:30-15:30 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				40
4 1.	2026/08/20(木)	3 時限	追・再試験	-	12:30-13:40
	タイトル	新生児・小児・思春期 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			

	担当者（所属）	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
4 2.	2026/08/20(木)	4 時限	追・再試験	-	13:55-15:05
	タイトル	新生児・小児・思春期 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者（所属）	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42

科目名	
加齢と老化、臨終	
科目責任者(所属)	
小川 哲也	
到達目標	
すべての生物は加齢・老化が起こり、最終的に死を迎える。まず、そのメカニズムについて、分子・細胞・臓器レベルで学修する。また、ヒトの体はどのような老化に伴う生理的変化が出現していくのか、全身的な立場から理解を深める。ついで、高齢者に特有な疾患、高齢者を診療する上での基本的な技能・態度、リハビリテーション・介護・ターミナルケアを含む治療について学ぶ。本邦では他国に先駆けて超高齢社会が到来する。そこではどのような問題が生じ、医療および社会はどのように対応すべきか理解を深め、自分自身でも考えることは重要なテーマである。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。</p> <p>受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。</p> <p>基本的医療技能を示すことができる。</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。</p> <p>適切な診療ガイドラインを選択できる。</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。</p> <p>事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。</p> <p>適切な問題解決を行ったか検証できる。</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。</p> <p>根拠となる文献を検索できる。</p> <p>診療上のエビデンスを選ぶことができる。</p> <p>医師法・医療法の概要を説明できる。</p> <p>社会保障を概説できる。</p> <p>医療に関する保証制度を概説できる。</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。</p> <p>社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。</p> <p>地域社会の医療ニーズを説明できる。</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。</p> <p>臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる。</p> <p>他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。</p> <p>討論・話し合いを促せる。</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。</p> <p>グループ目標達成のために行動できる。</p> <p>講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。</p> <p>学修する事例について医学の貢献を説明できる。</p>	<p>I-1-A-(3-4)-①</p> <p>I-1-A-(3-4)-②</p> <p>I-1-A-(3-4)-③</p> <p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-B-(3-4)-③</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-C-(3-4)-①</p> <p>I-3-A-(3-4)-①</p> <p>I-3-A-(3-4)-②</p> <p>I-3-B-(3-4)-①</p> <p>I-3-B-(3-4)-②</p> <p>I-3-C-(3-4)-①</p> <p>I-4-A-(3-4)-①</p> <p>I-4-A-(3-4)-②</p> <p>I-4-B-(3-4)-①</p> <p>I-4-C-(3-4)-②</p> <p>I-5-A-(3-4)-③</p> <p>I-5-B-(3-4)-①</p> <p>I-6-A-(3-4)-②</p> <p>I-6-D-(3-4)-①</p> <p>I-6-D-(3-4)-②</p> <p>II-1-A-(3-4)-②</p> <p>II-1-B-(3-4)-①</p> <p>II-1-B-(3-4)-②</p> <p>II-1-C-(3-4)-①</p> <p>II-2-B-(3-4)-①</p> <p>II-2-D-(3-4)-②</p> <p>II-3-A-(3-4)-①</p> <p>II-3-B-(3-4)-③</p> <p>II-4-A-(3-4)-①</p> <p>II-4-A-(3-4)-②</p> <p>II-4-B-(3-4)-①</p> <p>II-4-B-(3-4)-②</p> <p>II-4-C-(3-4)-①</p> <p>II-4-C-(3-4)-②</p> <p>II-5-A-(3-4)-①</p>
学修（教育）方法	
講義・実習・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
定期試験（筆記試験）の点数に授業・実習の出席状況を加味（最大＋5点）した点数を科目の評価点とする。ただし、70%以上の授業および実習の出席が定期試験の受験資格として必要である。	

評価方法 (2)評価項目	
慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。	A-3-1)⑦
地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。	A-7-1)③
地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。	B-1-7)③
日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。	B-1-8)①
医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。	B-1-8)②
高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。	B-1-8)③
予防接種の意義と現状を説明できる。	B-1-8)⑫
病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。	B-4-1)②
在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。	B-4-1)⑫
多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。	B-4-1)⑬
Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。	C-1-1)-(2)①
デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid <DNA>)の複製と修復を概説できる。	C-1-1)-(2)④
細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。	C-4-2)①
細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴を説明できる。	C-4-2)②
ネクロシスとアポトーシスの違いを説明できる。	C-4-2)③
知能の発達と経年変化を概説できる。	C-5-6)③
認知症の病因を列挙できる。	D-2-4)-(2)①
認知症をきたす主な病態（Alzheimer型認知症、Lewy小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)②
Parkinson病の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)③
骨盤の構成と性差を説明できる。	D-4-1)⑤
骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。	D-4-4)-(1)⑤
高齢者における心不全の特徴を説明できる。	D-5-4)-(1)⑤
高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。	D-5-4)-(9)⑥
肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。	D-6-1)⑥
急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(2)①
気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(2)⑤
慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease <COPD>)の病因を列挙できる。	D-6-4)-(3)①
慢性閉塞性肺疾患<COPD>の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。	D-6-4)-(3)②
間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(3)④
胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。	D-7-4)-(1)②
Helicobacter pylori感染症の診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(2)②
機能性消化管障害（機能性ディスぺプシア(functional dyspepsia <FD>))を説明できる。	D-7-4)-(2)⑦
炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(3)③
機能性消化管障害（過敏性腸症候群）を概説できる。	D-7-4)-(3)⑤
腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。	D-7-4)-(3)⑥
胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。	D-7-4)-(4)②
アルコール性肝障害を概説できる。	D-7-4)-(5)⑥
脂肪性肝疾患を概説できる。	D-7-4)-(5)⑩
急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。	D-7-4)-(6)①
慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。	D-7-4)-(6)②
蓄排尿の機序を説明できる。	D-8-1)⑧
閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。	D-9-1)⑨
外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。	D-14-1)①
聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	D-14-1)②
聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。	D-14-1)⑤
聴力検査と平衡機能検査を説明できる。	D-14-2)①
嚥下障害・誤嚥	D-14-3)-(2)②
伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。	D-14-4)-(1)②
末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。	D-14-4)-(1)③
良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。	D-14-4)-(1)④
認知症の診断と治療を説明できる。	D-15-3)②
老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的変化を説明できる。	E-8-1)①
高齢者総合機能評価(comprehensive geriatric assessment <CGA>)を実施できる。	E-8-1)②
老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。	E-8-1)③
フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。	E-8-1)④
認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。	E-8-1)⑤
歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。	E-8-1)⑥
口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。	E-8-1)⑦
高齢者の栄養マネジメントを説明できる。	E-8-1)⑧
加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。	E-8-1)⑨

高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。	E-8-1)⑩
高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。	E-8-1)⑪
高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。	E-8-1)⑫
死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。	E-9-1)⑥
人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。	E-9-1)⑦
水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。	E-9-1)⑧
人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。	E-9-1)⑨⑩
患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。	E-9-1)⑨⑩
もの忘れの原因と病態生理を説明できる。	F-1-32)①
もの忘れをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。	F-1-32)②
もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。	F-1-32)③
小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)⑥
主な薬物の有害事象を概説できる。	F-2-8)⑧
年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。	F-2-8)⑨
ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。	F-2-8)⑭
福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。	F-2-14)③
在宅医療の在り方、今後の必要性和課題を概説できる。	F-2-15)①
在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。	F-2-15)②
褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。	F-2-15)③
在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。	F-2-15)④
介護の定義と種類を説明できる。	F-2-15)⑤
日常生活動作<ADL>（排泄、摂食、入浴等）に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。	F-2-15)⑥
地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。	F-2-15)⑦
家族や地域といった視点を持ち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。	G-4-1)-(6)③
多職種連携を体験してその重要性を認識する。	G-4-1)-(6)⑤
臨床現場において、保健・医療・福祉・介護に関する制度に触れる。	G-4-1)-(6)⑥
家族や地域といった視点を持ち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。	G-4-1)-(7)④
衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的（主に量的）な視点から地域を診る学修機会を作る。	G-4-3)④
人類学・社会学・心理学・哲学・教育学等と連携し、行動科学・社会科学的（主に質的）な視点から地域における生活の中での医療を知り体験する学修機会を作る。	G-4-3)⑤

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について定期試験にて95点満点にて点数化を行う。これに授業・実習の出席状況を5点満点として合計100点満点とする。そして、S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満） B.平均的に理解している（70%以上80%未満） C.最低限は理解している（60%以上70%未満） D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

TBLおよび実習は講義がほぼ終了した時点で行われる。実習は講義を補う形式で行うので、講義をよく理解して臨むことが重要である。

実務経験

○ 大学病院の内科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『高齢者の安全な薬物療法ガイドライン』	日本老年医学会	メジカルビュー 2015	4758302898
2.	『東大がつくった高齢社会の教科書』	東京大学高齢社会総合研究機構	ベネッセコーポレーション 2017	9784130624183
3.	『健康長寿診療ハンドブック』	日本老年医学会	メジカルビュー社 2011	9784758304832
4.	『高齢者の生活機能の総合的評価』	鳥羽研二	新興医学出版社 2010	9784880027104
5.	『ベッドサイドの高齢者の診かた』	葛谷雅文	南山堂	9784525208714

			2008	
6.	『新老年学』	大内尉義	東京大学出版会 2010	9784130664066
7.	『高齢者診療マニュアル（生涯教育シリーズ）』	林泰史	日本医師会 2009	9784758300322
8.	『老年医学と老年学：老・病・死を考える』	小澤利男	ライフ・サイエンス 2009	9784898013151
9.	『老年精神医学講座 総論・各論』	日本老年精神医学会	ワールドプランニング 2009	9784863510005
10.	『認知症テキストブック』	日本認知症学会	中外医学社 2008	9784498129269
11.	『老年医学テキスト』	日本老年医学会	メジカルビュー社 2008	9784758304757
12.	『老年学テキスト』	飯島節	南江堂 2006	4524240217
13.	『物忘れ外来ハンドブック：アルツハイマー病の診断・治療・介護』	川畑信也	中外医学社 2006	4498128125
14.	『高齢者への包括的アプローチとリハビリテーション』	鳥羽研二	メジカルビュー社 2006	4758302820
15.	『高齢者に多い疾患の診療の実際』	井藤英喜	メジカルビュー社 2006	4758302812
16.	『新・老化学』	平井俊策	ワールドプランニング 2005	4948742759
17.	『臨床老年医学 上・下』	岩本俊彦	ライフ・サイエンス 2005-2006	4898012337,4898012426
18.	『認知症疾患の診断と治療の実際：「もの忘れ外来」レポート：すべての臨床医のための実践的アドバイス』	川畑信也	ワールドプランニング 2008	9784948742680

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/05/20(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	9. 臨終・死・死亡診断書			
	担当者（所属）	風間 啓至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-8-1)⑪,E-9-1)①⑥⑦⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/06/05(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	15. 高齢者の呼吸器疾患			
	担当者（所属）	中田 潤子			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-6-4)-(2)①⑤,D-6-4)-(3)①②④,E-8-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/06/08(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	5. 細胞の老化			
	担当者 (所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-1-1)-(2)①④,C-4-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/06/08(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	22. 高齢者の診察と評価			
	担当者 (所属)	青鹿 佳和			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)②,F-2-3)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/06/15(月)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1. 科目の概要、加齢・高齢者医学総論			
	担当者 (所属)	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	B-1-8)③,B-4-1)②,E-8-1)①③④⑨⑫,F-2-15)①④⑥,G-4-1)-(6)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				5
6.	2026/06/15(月)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	6. 高齢者の眼科疾患			
	担当者 (所属)	須藤 史子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	B-1-8)②③⑫,E-8-1)⑪,F-2-15)⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				6
7.	2026/06/16(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4. 高齢者の神経・精神疾患			
	担当者 (所属)	遠井 素乃			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	C-5-6)③,D-2-4)-(2)①②③,D-15-3)②,E-8-1)①⑤,F-1-32)①②③			
	講義資料番号/連番(LM S)				7

8.	2026/06/18(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	3. 在宅介護、在宅医療・在宅看取り			
	担当者（所属）	山中 崇			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-7-1)③⑤,E-9-1)⑨⑩,F-2-15)①②,G-4-1)-(6)④,G-4-3)①④⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				8
9.	2026/06/26(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	10. 高齢者の薬物療法			
	担当者（所属）	梶 健二郎			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)⑨,F-2-8)⑧⑨⑭			
	講義資料番号/連番(LM S)				9
10.	2026/06/26(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11. 高齢者の血液・感染症・免疫・膠原病			
	担当者（所属）	高木 香恵			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-3-1)⑦,E-8-1)①⑨			
	講義資料番号/連番(LM S)				10
11.	2026/06/30(火)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	21. 地域包括ケアと保健・医療関連法規			
	担当者（所属）	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	B-1-7)①②③,B-1-8)②③⑫,E-8-1)⑪,F-2-15)⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				11
12.	2026/06/30(火)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	18. 高齢者の内分泌・代謝疾患			
	担当者（所属）	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-9-1)⑨,E-8-1)①,D-12-1)②、D-12-2)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				12
13.	2026/07/01(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14. 高齢者の消化器疾患			
	担当者（所属）	大野 秀樹			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-7-4)-(1)②,D-7-4)-(2)②⑦,D-7-4)-(3)③⑤⑥,D-7-4)-(4)②,D-7-4)-(5)⑥⑩,D-7-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LM S)				13
1 4.	2026/07/01(水)	2時限	講義	—	10:25-11:35
	タイトル	13. 高齢者の骨・運動器疾患 ※対面のみで収録・配信なし 講義室201			
	担当者(所属)	田島 康介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-4-4)-(1)⑤,E-8-1)⑥⑩			
	講義資料番号/連番(LM S)				14
1 5.	2026/07/01(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	7. 高齢者の食事・栄養療法			
	担当者(所属)	佐川 まさの			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)⑦⑧,E-9-1)⑧			
	講義資料番号/連番(LM S)				15
1 6.	2026/07/01(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2. 高齢者の循環器疾患			
	担当者(所属)	青鹿 佳和			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(1)⑤,D-5-4)-(9)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				16
1 7.	2026/07/02(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	8. 高齢者の皮膚・口腔疾患			
	担当者(所属)	梅垣 知子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)①,F-2-15)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				17
1 8.	2026/07/03(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	17. 高齢者のリハビリテーション			
	担当者(所属)	降矢 芳子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	F-2-14)①②③④⑤⑥⑦,G-4-2)②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LM S)				18

1 9.	2026/07/03(金)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	16. 高齢者の腎・泌尿器・生殖器疾患			
	担当者（所属）	堀内 俊秀			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-4-1)⑤,D-8-1)⑧,D-8-2)④,D-8-3)④,D-8-4)③,D-9-4)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				19
2 0.	2026/07/06(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	19. 高齢者の耳鼻科疾患、嚥下機能			
	担当者（所属）	須納瀬 弘			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-14-1)①②⑤,D-14-2)①,D-14-3)-(2)②,D-14-4)-(1)②③④,E-8-1)⑦			
	講義資料番号/連番(LM S)				20
2 1.	2026/07/06(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	20. 組織・臓器・生理機能の老化			
	担当者（所属）	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)①③④			
	講義資料番号/連番(LM S)				21
2 2.	2026/07/07(火)	2 時限	実習	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1. 高齢者総合機能評価実習			
	担当者（所属）	佐藤 恭子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	E-8-1)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				22
2 3.	2026/07/07(火)	3 時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2. 介護保険医師意見書実習			
	担当者（所属）	大森 久子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	F-2-15)⑤,G-4-1)-(6)⑥			
	講義資料番号/連番(LM S)				23
2 4.	2026/07/08(水)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	12. 高齢者の外科疾患・周術期			
	担当者（所属）	市川 順子			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	D-5-4)-(1)⑤,D-5-4)-(9)⑥,D-6-1)⑥,E-8-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)			24	
2 5.	2026/07/13(月)	3 時限	試験	—	12:30-13:40
	タイトル	加齢と老化、臨終 試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				25
2 6.	2026/07/13(月)	4 時限	試験	—	13:55-15:05
	タイトル	加齢と老化、臨終 試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				26
2 7.	2026/08/17(月)	3 時限	追・再試験	—	12:30-13:40
	タイトル	加齢と老化、臨終 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/08/17(月)	4 時限	追・再試験	—	13:55-15:05
	タイトル	加齢と老化、臨終 再試験 13:00-15:00 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	小川 哲也			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				28

縦断教育科目

科目名
「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)
横田 仁子

到達目標
<p>本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「至誠と愛」の実践学修」では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。</p> <p>具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの6本の柱の下に構成されている。</p> <p>【6本の柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係） (2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力） (3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ (4) 医療人としての倫理—解釈と判断（法と倫理に基づく実践力） (5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢） (6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>セグメント5、セグメント6共通</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I -2-A-(3-4)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I -2-B-(3-4)-①</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。 I -2-C-(3-4)-①</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I -4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I -4-A-(3-4)-②</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。 I -4-C-(3-4)-②</p> <p>根拠となる文献を検索できる。 I -5-A-(3-4)-③</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I -6-B-(3-4)-①</p> <p>倫理的問題を明らかにできる。 I -6-B-(3-4)-②</p> <p>患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I -6-B-(3-4)-③</p> <p>傾聴できる。 II -1-A-(3-4)-①</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II -1-B-(3-4)-①</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。 II -1-B-(3-4)-②</p> <p>社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II -1-C-(3-4)-①</p> <p>医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。 II -2-A-(3-4)-②</p> <p>地域社会の医療ニーズを説明できる。 II -2-B-(3-4)-①</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II -2-C-(3-4)-②</p> <p>キャリア継続の意思を持つ。 II -2-C-(3-4)-③</p> <p>自分の特性を活かして学修できる。 II -2-D-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II -2-D-(3-4)-②</p> <p>自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II -2-E-(3-4)-①</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II -3-A-(3-4)-①</p> <p>基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II -3-B-(3-4)-①</p> <p>医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II -3-B-(3-4)-②</p> <p>臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II -3-B-(3-4)-③</p> <p>セグメント5のみ</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I -3-A-(3-4)-①</p> <p>基礎研究における倫理指針を概説できる。 I -6-C-(3-4)-①</p> <p>他者を尊重して対話ができる。 II -1-A-(1-2)-②</p> <p>他者の自己決定を理解できる。 II -1-A-(1-2)-③</p> <p>患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II -1-A-(5-6)-①</p> <p>患者の意志を聞き出すことができる。 II -1-A-(5-6)-②</p> <p>セグメント6のみ</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I -1-B-(3-4)-②</p> <p>医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I -1-C-(3-4)-②</p>

問題の優先度および重要度を判断できる。	I-2-A-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	I-4-A-(1-2)-①
研究・実習・症例などの要約が作成できる。	I-4-B-(3-4)-①
研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	I-4-C-(3-4)-①
診療上のエビデンスを選ぶことができる。	I-5-B-(3-4)-①
医師法・医療法の概要を説明できる。	I-6-A-(3-4)-②
利益相反(Conflict of interest)について説明できる。	I-6-C-(3-4)-②
医療に関する保証制度を概説できる。	I-6-D-(3-4)-②
患者の人権・尊厳を説明できる。	II-1-A-(3-4)-②
卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。	II-2-A-(3-4)-①
学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	II-2-C-(3-4)-①
自分の選択・判断の根拠を説明できる。	II-4-A-(3-4)-①
他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。	II-4-A-(3-4)-②
討論・話し合いを促せる。	II-4-B-(3-4)-①
自分の方針を説明し同意を得ることができる。	II-4-B-(3-4)-②
活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。	II-4-B-(3-4)-③
グループ目標達成のために行動できる。	II-4-C-(3-4)-①
講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	II-4-C-(3-4)-②
自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。	II-4-C-(5-6)-①
学修する事例について医学の貢献を説明できる。	II-5-A-(3-4)-①
相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。	II-5-B-(3-4)-②
学修（教育）方法	
講義、実習、ワークショップ、小グループでディスカッション・プレゼンテーション	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
講義と行事の課題、ワークショップと実習の学修成果で評価する。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。	
評価方法 (2)評価項目	
セグメント5、セグメント6共通	
患者を含めた他者に思いやりをもって接する。	PR-02-01-01
医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。	PR-02-03-01
礼儀正しく振る舞う。	PR-02-03-02
人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。	PR-04-01-03
地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。	GE-02-01-01
患者の所属する地域や文化的背景が健康に関連することを理解している。	GE-02-01-02
地域（都会・郊外・へき地・離島を含む）の実情に応じた医療と医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状の概要を理解している。	GE-02-02-01
地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。	GE-02-02-02
患者の居住する地域における各疾患の罹患率、有病率等の指標を用い、臨床推論で活用できる。	GE-02-02-03
地域の量的指標（人口構成等）や質的情報（地理的・歴史的・経済的・文化的背景）を収集し、地域の健康課題を説明できる。	GE-02-02-04
地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。	GE-02-02-05
地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。	GE-02-03-01
離島・へき地や医師不足地域等の医療資源が限られた状況での医療提供体制及び保健・福祉・介護の体制の概要を理解している。	GE-02-03-02
在宅医療の現状と適応を踏まえて、その必要性や課題の概要を理解している。	GE-02-04-01
在宅における緩和ケアや人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題の概要を理解している。	GE-02-04-02
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01
高齢者総合機能評価を実施できる。	GE-03-05-02
老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食嚥下障害等）について理解している。	GE-03-05-03
フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。	GE-03-05-04
国際生活機能分類について理解している。	GE-03-05-05
高齢者の栄養マネジメントについて理解している。	GE-03-05-06
日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。	GE-03-05-07
死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。	GE-03-06-01
医学知識が常に変りゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。	LL-01-01-01
学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。	LL-01-02-01
自らの心身を大切にできる。	LL-01-02-02
後輩や同僚等と協働して学修できる。	LL-02-01-01
常識を疑う。	RE-01-01-01
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。	RE-02-01-01
自身の行った研究内容を論文や報告書・学会発表等の形にまとめることができる。	RE-04-01-01

言語的コミュニケーション技能を發揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。	CM-01-01-02
患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
対人関係に関わる心理的要因（陽性感情・陰性感情等）を認識しながらコミュニケーションをとることができる。	CM-01-01-04
相手の話を聞き、事実や自分の意見を相手にわかるように述べるることができる。	CM-01-01-05
患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。	CM-01-02-01
患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
患者や家族の多様性（高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等）に配慮してコミュニケーションをとることができる。	CM-02-01-01
患者が理解できるよう、極力専門用語を使わずに、わかりやすく説明できる。	CM-02-01-02
患者や家族と情報共有や意見のすり合わせを行い、理解と同意を踏まえた意思決定を支援できる。	CM-02-02-01
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るためのニーズを把握することができる。	CM-03-01-01
患者が抱える課題、問題点を抽出・整理できる。	CM-03-01-02
患者自身から情報が得られない場合、代理人や保護者等から必要な情報を得ることができる。	CM-03-01-03
家族や地域といった視点を持ちながら、コミュニケーションをとることができる。	CM-03-02-01
心理・社会的背景に配慮した診療に可能な範囲で参加することができる。	CM-03-02-02
対人関係や対人行動に関わる概念について理解している。	IP-02-02-02
病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。	IP-02-04-01
国民皆保険としての医療保険、介護保険、年金保険を含む社会保険の仕組みと問題点を理解し、改善策を議論できる。	SO-01-02-02
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）等の障害者福祉の概要を理解している。	SO-01-02-03
健康増進法、栄養、身体活動、休養等の健康増進施策の意義と概要を理解している。	SO-01-03-02
地域保健に関連する基本的な制度や法律を理解している。	SO-01-03-03
医療計画について概要を理解している。	SO-05-01-04
セグメント5のみ	
他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。	PR-02-02-02
患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響を理解している。	GE-01-03-02
PICO（PECO）を用いた問題の定式化ができる。	GE-01-04-02
診療ガイドラインの種類、推奨の強さ、使用上の注意を理解している。	GE-01-04-05
研究計画の素案を作ることができる。	RE-03-02-01
人を対象とした研究（治験、特定臨床研究を含む）に関するルールの概要を理解し、遵守する。	RE-05-02-01
患者の自己決定を阻害する問題点を理解する。	CM-02-03-01
患者の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。	CM-02-03-02
患者の意思決定支援のために、最善のエビデンスをできるだけ専門用語を使わずに、わかりやすく説明することができる。	CM-02-03-03
自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。	IP-02-01-01
多職種及び他の医療系学部の学生の中で自らの役割を果たすことができる。	IP-02-01-02
多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。	IP-02-02-01
医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。	IP-02-03-01
自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。	IP-02-03-02
主な疫学の研究デザインとして、観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）及び介入研究（ランダム化比較試験等）を理解している。	SO-02-02-05
セグメント6のみ	
患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものか考え、そのように行動する（利益相反等）。	PR-01-01-01
社会から信頼される専門職集団の一員であるためにどのように行動すべきかを考え、行動する。	PR-01-01-02
生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。	PR-04-01-02
臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。	GE-01-01-01
適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。	GE-01-01-02
基本的なフレームワーク（頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学のアプローチ、二重過程理論、事前確率等）を用いて臨床推論を行うことができる。	GE-01-01-03
最先端の研究に刺激を受ける。	RE-01-02-01
ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。	RE-01-02-02
薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。	CS-02-04-04
主な薬物アレルギーの症候、診察、診断、予防策と対処法について理解している。	CS-02-04-08
抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。	CS-02-04-10
医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を理解している。	CS-05-03-02
患者の価値観に沿った目標に基づいた治療方針を計画することができる。	CM-02-03-04
多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。	IP-01-02-01
保健所、市町村保健センター、地方衛生研究所の役割を理解している。	SO-01-03-01
産業保健の意義、労働衛生の3管理等、産業保健の基本的な考え方を理解している。	SO-01-04-01
医師法が定める医師の職権と義務を理解している。	SO-05-01-01
国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。	SO-05-02-01
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意義を理解し、世界各国の医療制度が抱える問題を例示できる。	SO-05-02-02
保健関連の国連開発目標や国際機関・国際協力に関わる組織・団体について概要を理解している。	SO-05-02-03
時代の流れ、社会の状況や諸制度との関わりのなかで医療に関する諸事象を捉え、構造的に説明できる。	SO-06-01-02

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法 (3)評価基準				
上記の総合的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。				
事前・事後学修				
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。				
伝達事項				
① 形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。③準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間＋1.0時間。				
実務経験				
教科書・参考図書				
No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会 編	三恵社 2018	978486487 8425
2.	『人間の記録63 吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編集委員会	日本図書センター 1998	978482054 3084
3.	『国境なき医師団：貫戸朋子』	NHK「課外活動 よこそ先輩」制作グループ＋KTC中央出版.編	KTC中央出版 2000	978487758 1602
4.	『Oxford Textbook of Palliative Medicine, 6th edition,』	N.I.Cherny, M.T.Fallon, S.Kaasa, et al. (eds.)	Oxford University Press 2021	214748364 7
5.	『神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程』	大谷美和子	くもん出版 2012	978477432 1394
6.	『知っておきたい薬害の知識：薬による健康被害を防ぐために』	日本公定書協会企画・編集	じほう 2011	978484074 1743
7.	『生きがいについて』	神谷美恵子	みすず書房 2004	978462208 1814
8.	『アット・ザ・ベンチ アップデート版 バイオ研究完全指南』	Kathy Barker	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2005	978489592 4146
9.	『子どもを選ばないことを選ぶ：いのちの現場から出生前診断を問う』	大野明子編著	メディカ出版（取扱なし） 2003	978484040 7731
10.	『人あかり：死のそばで』	徳永進	ゆみる出版 2004	978494650 9353
11.	『命を見つめて 魂に寄り添った女医の物語』	山崎倫子 岡山徹 構成	ランダムハウス講談社 2005	978427000 0809
12.	『平静の心：オスラー博士講演集 新訂増補版』	オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708 X
13.	『ハーバードの医師づくり：最高の医療はこうして生まれる』	田中まゆみ	医学書院 2002	978426013 8871
14.	『死をみとる1週間（総合診療ブックス）』	林章敏, 池永昌之編	医学書院 2002	978426013 8888
15.	『実践チーム医療論：実際と教育プログラム：インタープロフェッショナル・ヘルスケア』	水本清久 [ほか] 編著	医歯薬出版 2011	978426323 5577
16.	『女性よ賢くあれ 母娘二代女医の道』	長池博子	河北新報社（取扱無し） 1999	978487341 1361
17.	『医学生のための生命倫理』	盛永審一郎, 松島哲久編	丸善出版 2012	978462108 5936
18.	『佐々木静子からあなたへ 女のからだと医療・性暴力・人権』	著：佐々木静子/編集：『佐々木静子からあなたへ』編集委員会	教育史料出版会	978487652 5348

			2015	
19.	『治療としての面接』	鈴木二郎	金剛出版 2001	978477240 6826
20.	『幕末の女医 楠本イネ シーボルトの娘と家族の肖像』	宇神幸男	現代書館 2018	978476845 8242
21.	『悔いありてこそ 女医一筋六〇年』	三神美和	山手書房 1984	
22.	『期待される医師のマナー：実践をめざして』	日本医学教育学会編	篠原出版（取扱無し） 1988	978487949 0889
23.	『脳死判定・臓器移植ハンドブック』	厚生省保健医療局臓器移植対策室監修	社会保険出版社 1998絶版	978478460 1639
24.	『野に咲くペロニカ』	林富美子	小峯書店 1981	978491563 4062
25.	『ドクター・エプロン 私は田舎の町医者です』	青山眞理	新風社 2003	978479742 2559
26.	『真実を伝える：コミュニケーション技術と精神的援助の指針』	ロバート・バックマン著；前野宏, 平井啓, 坂口幸弘訳	診断と治療社 2000	978478780 3702
27.	『蹄跡：ALS患者となった眼科医の手記』	渡辺春樹著	西田書店 2003	978488866 3694
28.	『小児科医者内藤寿七郎物語』	丹羽洋子著	赤ちゃん和妈妈社 2003	978487014 0318
29.	『血液疾患診療編（インフォームド・コンセント ガイダンス）』	月本一郎編著	先端医学社 2001	978488407 0380
30.	『新版 医療倫理Q&A』	関東医学哲学・倫理学会編	太陽出版 2013	488469769 3
31.	『つなぐ命つなげる心 東京大空襲を乗り越えて 無名偉人伝 町医者中尾聡子』	平野久美子	中央公論事業出版 2015	978489514 4490
32.	『対人援助のためのコーチング：利用者の自己決定とやる気をサポート』	諏訪茂樹	中央法規出版 2007	978480582 9097
33.	『小島の春 ある女医の手記』	小川正子	長崎出版 1995	978493069 5611
34.	『たんぼぼ：東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会文集』	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会 2007	
35.	『「チーム医療」とは何か：医療ケアに生かす社会学からのアプローチ』	細田満和子	日本看護協会出版会 2012	978481801 6583
36.	『生命医学倫理ノート：和の思想との対話』	松田一郎	日本評論社 2004	978453598 2345
37.	『モリー先生との火曜日』	ミッチ・アルバム	日本放送出版協会 1998	978414080 3837
38.	『回想のハルビン ある女医の激動の記録』	山崎倫子	牧羊社 1993	978483331 5357
39.	『知っておきたい薬害の教訓：再発防止を願う被害者からの声』	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団企画編	薬事日報社 2012	978484081 2139
40.	『コスモスの花蔭で らい医療に携わった女医達の記録』	肥田野信／東京女子医科大学皮膚科学教室	1990	

関連リンク

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MB まで、圧縮ファイル OK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
----	-----	----	------	----	--------

1.	2026/04/08(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1 キャリアを考える (6) 「女性医師ロールモデル実習ガイダンス (全体)」			
	担当者 (所属)	横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	GE-01-03-02,PR-02-02-01,PR-02-02-02,CM-02-03-02,LL-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/04/16(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床研究倫理 (1)			
	担当者 (所属)	佐々木 孝寛			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	RE-02-01-01,RE-05-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/04/23(木)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床研究倫理 (2)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔭池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/04/23(木)	5 時限	講義	-	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (講義室201)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔭池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/04/23(木)	6 時限	講義	-	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床研究倫理 (2) ワークショップ※収録配信なし、対面のみ (講義室201)			
	担当者 (所属)	縣 宗彦 蔭池 勇太 佐々木 孝寛 佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	PR-01-02-02,PR-02-01-01,PR-04-01-03,GE-01-04-02,RE-02-01-01,RE-03-02-01,RE-05-02-01,CM-01-02-01,CM-02-01-02,CM-02-03-03,SO-02-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/05/11(月)	6 時限	実習	講義室 302 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	16:35-17:45
	タイトル	キャリアを考える (6) 「女性医師のロールモデル実習ガイダンス (小グループ) 」			
	担当者 (所属)	清水 優子 篠崎 和美 山口 俊夫 小林 浩子 竹中 祐子 浦瀬 香子 石垣 景子 田中 正太郎 山本 圭子 秋澤 叔香 辻野 賢治 横田 仁子 廣田 恵子 加藤 環 土井 範子 首里 京子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-05,GE-02-01-01,GE-02-01-02,GE-02-02-01,GE-02-02-02,GE-02-02-03,GE-02-02-04,GE-02-02-05,GE-02-03-01,GE-02-03-02,GE-02-04-01,GE-02-04-02,LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-03-01-01,CM-03-01-02,CM-03-01-03,CM-03-02-01,CM-03-02-02,IP-02-01-01,IP-02-01-02,IP-02-02-01,IP-02-02-02,IP-02-03-01,IP-02-03-02,IP-02-04-01,SO-01-02-03,SO-05-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/05/22(金)	3 時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者 (所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/05/22(金)	4 時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者 (所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/05/22(金)	5 時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/06/10(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	6 医療コミュニケーション (5) 「患者の自己決定と自己解決のサポート (Coaching)」			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-02-01,CM-02-03-01,CM-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				10

科目名
国際コミュニケーション
科目責任者(所属)
長坂 安子

到達目標
<p>本コースでは、将来、国際的な医療現場において適切にコミュニケーションを行うことができる医療人の育成を目的とする。主に米国における医療面接（medical interview）の基本構造および問診項目を理解し、英語で患者の病歴を聴取するための初歩的な表現と技能を習得することを到達目標とする。</p> <p>セグメント5と6</p> <p>1) 医療面接の基本構成（Chief Complaint, HPI, PMH 等）を理解できる。</p> <p>2) 患者に対して基本的な問診を英語で行うことができる。</p> <p>3) 聴取した情報を、簡潔かつ適切な英語で記述することができる。</p> <p>また、セグメント4に引き続き、e-learning による医学英語の語彙学修の継続性を定着させ、診療で使われる基礎的な英語表現に慣れる。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-①</p> <p>学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-C-(3-4)-②</p>
学修（教育）方法
講義・演習
<p>評価方法 (1)総括的評価の対象</p> <p>セグメント5・セグメント6の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。 評価の対象は、授業への出席、e-learningの学修、医学英語語彙テスト、授業の課題。</p>
<p>評価方法 (2)評価項目</p> <p>1) 医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,C-5-7)⑥⑦⑧</p> <p>2) e-learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>3) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で習得することができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,LL-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03</p> <p>4) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。 LL-01-01-02,LL-02-01-01</p> <p>5) 英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点を質問したり、自分の意見などを英語で表現できるようにする。 LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-05,SO-06-01-03,RE-01-02-02,RE-05-02-01</p>
<p>評価方法 (2)評価項目続き</p>
<p>評価方法 (3)評価基準</p> <p>1) 授業への参加度 10%</p> <p>2) e-learning 30%</p> <p>3) 語彙テスト 20%</p> <p>4) 授業の課題 40%（授業内テスト含む）</p> <p>セグメント5とセグメント6の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価するが、上記の評価項目について：</p>

- S(100～90%) 当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる。
 A(89～80%) 当該科目の目標を十分に達成していると認められる。
 B(79～70%) 当該科目の目標の基幹部分は達成しているものと認められる。
 C(69～60%) 当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる。
 D(59～0%) 当該科目の目標に及ばない。
 C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

- 1) 授業回数が少ないので、全講義への出席が前提。
- 2) 各講義で出される課題は、提出期限を厳守すること。
- 3) 語彙テストは、e-learningの学修効果をみるため、セグメント5で2回、セグメント6で4回実施。
- 4) 毎回の講義前には、ポータルサイト又はWebclassで準備学修などの連絡をするので、確認、準備の上、講義に臨むこと。
- 5) 本学に来訪する海外の医師による講演会（グランドラウンド等）やハンズオンセミナー（シミュレーション教育）を年間にわたり不定期におこなうことを予定しており、ポータルサイトから案内される。希望者の参加を推奨する（加対象外）。

実務経験

○ 大病院の麻酔科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『最新医学英語用語演習』	岡田聚 / 名木田恵理子/ 田中伸代	南雲堂 2021	9784523178699
2.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481
3.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498
4.	『最新医学英語用語演習』	岡田聚 / 名木田恵理子/ 田中伸代	南雲堂 2021	9784523178699
5.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep1』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2016	9784758304481
6.	『医学・医療系学生のための総合医学英語テキストStep2』	日本医学英語教育学会	メディカルビュー 2017	9784758304498

関連リンク

1.	The New England Journal of Medicine	https://www.nejm.org
2.	The Lancet	https://www.thelancet.com

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/05/22(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1.英語医療面接H&P(History&Physical)概論と主訴(CC:ChiefComplaint)			
	担当者（所属）	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-05,RE-01-02-02,RE-05-02-01,SO-06-01-03,SO-06-01-03,CM-01-01-01,CM-01-01-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2026/05/29(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	2.英語医療面接HistoryofPresentIllness:HPT① (OPQRSTの理解)			
	担当者 (所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,CM-01-01-01,CM-01-01-02 CM-01-01-01,CM-01-01-03 LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2026/06/16(火)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3.英語医療面接HPI②短文作文練習・読解教科			
	担当者 (所属)	大野 純子 佐藤 明可 岡野 龍介			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04,RE-04-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-05,RE-01-02-02,RE-05-02-01,SO-06-01-03,SO-06-01-03,CM-01-01-01,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				3

科目名
医療・患者安全学
科目責任者(所属)
清水 優子

到達目標
<p>現代医学における科学的発見により医療成績は大いに改善された一方で、さまざまな研究によりこの医療の発展の陰で患者安全が重大に危険に曝されていることが明らかにされている。医療に関与する全員が患者安全の原則と概念を熟知し、それらの応用に習熟しておくことが不可欠である。</p> <p>患者安全学では世界標準の患者安全教育カリキュラム（WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版）を基盤として、ヒューマンファクターズ、システム思考、リスク管理から質改善などを通じて「組織人」としての医療者への成長を目標とし、知識・技能・行動・態度に渡って包括的かつ体系的に学んでいく。</p> <p>三年次（S5）では、患者安全を改善するべく汚染および感染のリスクを最小限に減らしていくうえで医療チームの個々のメンバーがどのように貢献できるか、侵襲的処置に関連した有害事象の主な種類を把握し、外科的および侵襲的処置の質を改善するプロセスに精通すること、薬剤および医療関連機器使用の安全性を高めるための手法を継続的に学修および実践できることを目標とする。</p>

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
問題の優先度および重要度を判断できる。	I-2-A-(3-4)-①
事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。	I-2-A-(3-4)-②
患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。	I-2-A-(5-6)-①
問題の科学的的重要性を評価できる。	I-2-B-(3-4)-①
事例から自分の知らないことを発見できる。	I-2-C-(3-4)-①
未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	I-2-C-(3-4)-②
事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	I-3-A-(3-4)-①
異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。	I-3-A-(5-6)-④
情報を活用し適切な解決方法を判断できる。	I-3-B-(5-6)-②
適切な問題解決を行ったか検証できる。	I-3-C-(3-4)-①
結果の客観的評価ができる。	I-3-C-(3-4)-②
結果の解釈の限界を明らかにできる。	I-3-C-(3-4)-③
予想と異なる結果について原因を考察できる。	I-3-C-(5-6)-③
患者に分かる言葉を選択できる。	I-4-A-(3-4)-②
医療チームでの情報共有について説明できる。	I-4-C-(3-4)-②
専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。	I-4-C-(5-6)-④
立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。	I-6-B-(5-6)-③
患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。	II-1-A-(5-6)-①
他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	II-1-B-(3-4)-①
患者・家族の解釈を理解し、対応できる。	II-1-B-(5-6)-①
患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。	II-1-B-(5-6)-②
患者・家族への説明の場に配慮できる。	II-1-B-(5-6)-③
卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。	II-2-A-(3-4)-①
医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。	II-2-A-(3-4)-②
グループ目標達成のために行動できる。	II-4-C-(3-4)-①
講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	II-4-C-(3-4)-②
自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。	II-4-C-(5-6)-①

学修（教育）方法

講義、演習

評価方法 (1)総括的評価の対象
今回は、レポートを100%として評価する。Aタイプ選択問題（4題）は1題5点とし20点満点、レポート課題4題は各20点満点として80点満点とする。以上合計100点満点とする。

評価方法 (2)評価項目	
医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。	A-6-3)①
標準予防策(standard precautions)の必要性を説明し、実行できる。	A-6-3)②
患者隔離の必要な場合を説明できる。	A-6-3)③
針刺し事故（針刺し切創）等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。	A-6-3)④
医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。	A-6-3)⑤
チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①

医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	A-5-1)②
自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	A-5-1)③
実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。	A-6-1)②
医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。	A-6-1)③
医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やっではないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。	A-6-1)④
医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。	A-6-1)⑤
医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。	A-6-1)⑥
真摯に疑義に応じることができる。	A-6-1)⑧
医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。	A-6-2)①
医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。	A-6-2)②
医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。	A-6-2)③
基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。	A-6-2)④
標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。	E-2-4)-(5)①
患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。	E-2-4)-(5)②
医療従事者の体液曝露後の感染予防策を概説できる。	E-2-4)-(5)③

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

"上記評価項目について今回は、レポートを100点満点にて点数化を行い。

S.極めて良く理解している（90点以上） A.良く理解している（80点以上90点未満） B.平均的に理解している（70点以上80点未満） C.最低限は理解している（60点以上70点未満） D.理解が不十分である（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。"

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって講義・演習や実習（レポートを含む）の際に随時行う。

実務経験

○ 大学病院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『WHO 患者安全カリキュラムガイド 多職種版』	世界保健機関著、	2011	9789241501958

		(学)東京医科大学記		
2.	『これだけは知っておきたいWHO 患者安全カリキュラムガイド』	相馬孝博	メディカ出版 2013	9784840445245
3.	『医療におけるヒューマンエラー（第2版）』	河野龍太郎	医学書院 2014	9784260019378

関連リンク

1.	東京医科大学医学教育学分野 WHO患者安全カリキュラムガイド 多職種版について 2013/3/8	http://meded.tokyo-med.ac.jp/who%E6%82%A3%E8%80%85%E5%AE%89%E5%85%A8%E3%82%AB%E3%83%AA%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E5%A4%9A%E8%81%B7%E7%A8%AE%E7%89%88%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/		
----	--	---	--	--

添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/15(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1. 感染の予防と管理			
	担当者 (所属)	清水 優子 松村 剛毅 世川 修 吉武 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-5,A-6,E-2-4)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/04/15(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2. 侵襲的処置と患者安全			
	担当者 (所属)	清水 優子 松村 剛毅 世川 修 吉武 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-5,A-6			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/05/29(金)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3. 医療機器と患者安全			
	担当者 (所属)	清水 優子 松村 剛毅 世川 修 吉武 久美子 原 伸太郎			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-5,A-6			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/06/30(火)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	4. 薬の安全性を改善する			
	担当者 (所属)	清水 優子 松村 剛毅 世川 修 吉武 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-5,A-6			
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/06/30(火)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	5. ケーススタディー演習			
	担当者 (所属)	清水 優子 松村 剛毅 世川 修			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-5,A-6			
	講義資料番号/連番(LM S)				5
6.	2026/07/17(金)	4 時限	試験	-	13:55-15:05
	タイトル	【試験】 14:30-15:40 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				6
7.	2026/07/17(金)	5 時限	試験	-	15:15-16:25
	タイトル	【試験】 14:30-15:40 (講義室202,203)			
	担当者 (所属)	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				7

科目名
基本的・医学的表現技術
科目責任者(所属)
木林 和彦

到達目標
<p>自分の表現したいことと表現すべきことを的確に把握して文書で正確に表現する能力を養う。医師として患者自身に全人的な関心を持ち、患者の状態を表現し共有するため、診療録、患者要約、診療情報提供書の記載ができること、また、患者のニーズを把握してチームで適切な検査治療が行われるように処方箋・検査依頼書の作成ができること、さらに、診断書類を正確に作成できることを目標とする。医学研究のための研究計画書、症例報告と論文が作成できること、学会発表ができることも目標とする。</p> <p>セグメント1 では大学生として基本的な読解力と文章力、学び・気づき・変容を省察して表現する技能を習得した。また、セグメント2 では科学的実験の記録方法、医療関係講演の記録方法、医学情報の伝達と説明に必要な基本的表現技術、基礎医学（機能系・形態系）に関する基本的表現技術を習得した。セグメント4 では医学論文の読解と要旨作成に関する演習を通じて、医学情報を正しく読解し、他の研究者・医療者に文書で正しく伝える能力を養うことを目標とした学修を行った。</p> <p>セグメント5 では医学研究に関する講義と演習を通じて、医学情報を文書で正しく伝える能力を養うことを目標とする。将来の研究活動で学会発表や論文発表を行うための準備教育として、研究の発案から論文発表までの一連の課程を理解し、学会発表の抄録、スライドやポスターの作成方法を習得する。また、症例報告から原著論文までの研究論文の種類と構成を理解し、医学情報を論文等で正しく文書表現する方法を学修する。講義と文書作成演習を組み合わせたカリキュラムを通じて各種疾患の病因と病態の理解を深め、生命科学や医療技術の成果を学ぶことで医学研究への志向の涵養が目標である。</p> <p>また、セグメント5 では医学・医療における文書作成について学修し、医師としての基本的表現技術を養うことも目標とする。即ち、①医療で扱う診療諸記録の種類と役割を理解し、患者情報の記録、管理及び伝達の方法を学修する。また、②検査や治療に必要な説明文書と同意書を用いたインフォームドコンセントの演習を行い、患者と医師の関係についての理解を深める。さらに、③諸証明書や臨床研究で用いられる文書についても言及する。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
<p>問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-①</p> <p>医学における倫理の概念を説明できる。 I-6-B-(3-4)-①</p> <p>基礎研究における倫理指針を概説できる。 I-6-C-(3-4)-①</p> <p>基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。 II-3-B-(3-4)-①</p> <p>医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。 II-3-B-(3-4)-②</p> <p>臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③</p>
学修（教育）方法
講義。講義中に演習を行う。小グループでディスカッション、全体でプレゼンテーションとディスカッションを行う。
評価方法 (1)総括的評価の対象
講義の出席とレポート提出を1/3、筆記試験による試験結果を2/3の割合として成績を評価する。筆記試験はセグメント5終了時に行う。ただし、筆記試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が筆記試験の受験資格として必要である。
評価方法 (2)評価項目
<p>1)講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 [A-2-2)①]</p> <p>2)得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 [A-2-2)②]</p> <p>3)実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。 [A-2-2)③]</p> <p>4)患者に分かりやすい言葉で説明できる。 [A-4-2)②]</p> <p>5)研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 [A-8-1)①]</p> <p>6)患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。 [A-8-1)③]</p> <p>7)抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。 [A-8-1)④]</p> <p>8)診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POM R>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 [A-3-1)④]</p>

- 9)診療録(カルテ)に関する基本的な知識(診療録の管理と保存(電子カルテを含む)、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録<POMR>、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>))を説明でき、実際に作成できる。 [B-2-2)①]
- 10)診療に関する諸記録(処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約)を説明できる。 [B-2-2)②]
- 11)診断書、検案書、証明書(診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書)を説明できる。 [B-2-2)③]
- 12)医学研究と倫理(それぞれの研究に対応した倫理指針と法律)を説明できる。 [B-3-1)①]
- 13)臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。 [B-3-1)②]
- 14)臨床試験・治験と倫理性(ヘルシンキ宣言、第I・II・III・IV相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>))を説明できる。 [B-3-1)③]

評価方法
(2)評価項目続き

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上 90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上 80%未満)、C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

レポートは全体の講評としてまたは個別にフィードバックする。

実務経験

○ 医学・医療での教育と実務の経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『研究室マネジメント入門：人・資金・安全・知財・倫理』	日本化学会編	丸善 2009	97846210810 51
2.	『研究倫理とは何か：臨床医学研究と生命倫理』	田代志門	勁草書房 2011	97843261541 73
3.	『大学生のためのスタディ・スキルズ』	学習技術研究会	くろしお出版 2006	97848742435 58
4.	『大学生と留学生のための論文ワークブック』	浜田麻里, 平尾得子, 由井紀久子共著	くろしお出版 1997	4874241271
5.	『文書表現技術ガイドブック』	岸学	共立出版 2008	97843200057 85
6.	『手ぎわよい科学論文の仕上げ方』	田中潔	共立出版 1994	97843200088 54
7.	『医学・バイオ系のためのFig.作成ガイド：論文・プレゼンに役立つPhotoshop / Illustrator活用法』	吉田勝久	オーム社 2007	97842742047 91
8.	『最新医学用語演習：医学英語演習』	岡田聚, 名木田恵理子	南雲堂 1993	4523172587
9.	『これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現』	藤枝宏壽, 玉巻欣子, Randolph Mann編著	メジカルビュー社 2004	475830405X
10.	『診療録の記載とプレゼンテーションのコツ』	酒巻哲夫	メジカルビュー社 2009	2147483647
11.	『標準的診療記録作成・管理の手引き』	全国病院協会医療の質向上委員会	じほう 2004	2147483647
12.	『医療・福祉で役立つ「効果的な文章の書き方」入門講座』	園部俊晴	運動と医学の出版社 2013	2147483647
13.	『医師・医療クラークのための医療文書の書き方』	中村雅彦	永井書店 2012	2147483647
14.	『医療文書の正しい書き方と医療補償の実際：診断書から社会保障まで』	日野原重明	金原出版 2007	2147483647
15.	『医療文書作成マニュアル』	丸田守人	ミクス 2007	2147483647

			1997	
16.	『診療録と重要な医療文書の書き方』	山澤埜宏	ミクス 2000	2147483647

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/06/11(木)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	1.科学者の行動規範、医学研究の倫理的原則			
	担当者(所属)	木林 和彦			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-8-1)①,B-3-1)①			
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/06/11(木)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	2.基礎と臨床の有機的連携による研究の実際 (1)			
	担当者(所属)	柳澤 直子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/06/26(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3.臨床での医学研究の実際			
	担当者(所属)	西井 明子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④,B-3-1)②,B-3-1)③			
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/06/26(金)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4.論文(原著論文・英文)の読解と日本語要約(1)【国際コミュニケーション合同講義】			
	担当者(所属)	木林 和彦 辻村 貴子 佐藤 明可 山本ラヴェナー ロクサナ 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-2-2)①,A-2-2)②,A-2-2)③,A-8-1)③,A-8-1)④			

	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2026/06/26(金)	5 時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	5.論文(原著論文・英文)の読解と日本語要約(2)【国際コミュニケーション合同講義】			
	担当者(所属)	木林 和彦 辻村 貴子 佐藤 明可 山本ラヴェナー ロクサナ 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)①,A-2-2)②,A-2-2)③,A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/06/26(金)	6 時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	6.基礎と臨床の有機的連携による研究の実際(2)			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④,B-3-1)②,B-3-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/06/29(月)	1 時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	7.症例報告スタイルの学会発表準備と本番練習			
	担当者(所属)	橋本 浩次			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/06/29(月)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	8.研究報告スタイルの学会発表準備(メーキング)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/07/03(金)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9.研究報告スタイルの学会発表準備(抄録・本番)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				9

1 0.	2026/07/07(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	10.論文（原著論文・英文）の読解と日本語要約（3）【国際コミュニケーション合同講義】			
	担当者（所属）	木林 和彦 辻村 貴子 佐藤 明可 山本ラヴェナー ロクサナ 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-2-2)①,A-2-2)②,A-2-2)③,A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LM S)				10
1 1.	2026/07/08(水)	2 時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11.社会医学での研究・実務活動			
	担当者（所属）	町田 光世			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-8-1)③,A-8-1)④			
	講義資料番号/連番(LM S)				11
1 2.	2026/07/08(水)	3 時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12.医学・医療における文書作成（演習1）			
	担当者（所属）	木林 和彦 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-3-1)④,A-4-2)②,B-2-2)①,B-2-2)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				12
1 3.	2026/07/08(水)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	13.医学・医療における文書作成（演習2）			
	担当者（所属）	木林 和彦 辻村 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-3-1)④,A-4-2)②,B-2-2)①,B-2-2)②			
	講義資料番号/連番(LM S)				13
1 4.	2026/07/17(金)	3 時限	試験	－	12:30-13:40
	タイトル	14.筆記試験			
	担当者（所属）	木林 和彦			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				14

科目名	
AI・データサイエンスと医療	
科目責任者(所属)	
野原 理子	
到達目標	
縦断科目であるAI・データサイエンスと医療では、医療に関わる各種情報を効果的に活用するために、ICT (Information and Communication Technology)の利用を中心とした情報の収集・整理・統合・分析・選択・検索・発信・提示の実際を学修する。セグメント5とセグメント6では、疫学概念と方法を理解し、これを集団に応用するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。講義の前半では内容の説明を行い、後半では図や表を見て考察すること、簡単な演習問題を解いてみることを通して、セグメント4で学修した統計学が疫学でどのように用いられているのかなど疫学の基本的な考え方を理解する。さらに、疫学研究から発展したEvidence Based Medicine(EBM)の学修の導入として、医学論文の文献検索の方法などを習得する他、臨床疫学指標について理解することを目標とする。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。	I-1-B-(3-4)-③
結果の客観的評価ができる。	I-3-C-(3-4)-②
結果の解釈の限界を明らかにできる。	I-3-C-(3-4)-③
データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	I-5-A-(3-4)-①
学修(教育)方法	
講義・演習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
授業中の課題(100%)	
評価方法 (2)評価項目	
1)根拠に基づいた医療(EBM)の5つのステップを列挙できる。	B-1-3)①
2)Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome (PICO (PECO))を用いた問題の定式化ができる。	B-1-3)②
3)研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス)を概説できる。	B-1-2)⑤
4)データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。	B-1-3)④
5)得られた情報の批判的吟味ができる。	B-1-3)⑤
6)平均寿命、健康寿命を説明できる。	B-1-4)②
7)罹患率と発生割合の違いを説明できる。	B-1-4)③
8)疫学とその応用(疫学概念、疫学指標(リスク比、リスク差、オッズ比)とその比較(年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio (SMR))、バイアス、交絡)を説明できる。	B-1-4)④
9)臨床検査の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率(事前確率)・検査後確率(事後確率)、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線)と判定基準(基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値)を説明できる。	F-2-3-④
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
授業中の課題(100%)により、S.極めて良く理解している、A.良く理解している、B.平均的に理解している、C.最低限は理解している、D.理解が不十分である、のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
事前・事後学修	
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。	
伝達事項	
-	

実務経験				
教科書・参考図書				
No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第4版』	日本疫学会	南江堂 2024	97845242044 89
2.	『疫学：基礎から学ぶために』	日本疫学会	南江堂 1996	4524212582
3.	『疫学ハンドブック：重要疾患の疫学と予防』	日本疫学会	南江堂 1998	4524215441
4.	『臨床疫学：EBM実践のための必須知識 第3版』	ロバート H.フレッチャー, スザンヌ W.フレッチャー, グラント S.フレッチャー 著ほか	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2016	97848959285 33
関連リンク				
添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK				

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/10(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	1 疫学とは			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-02-04,SO-02-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2026/04/10(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	2 疫学指標：罹患率と有病率			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2026/04/14(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3 疫学指標：年齢調整死亡率と標準化死亡比			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-02-04,SO-02-02-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2026/04/14(火)	4 時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	4 疫学指標：生命表と平均寿命			
	担当者（所属）	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	SO-04-01-01,SO-03-01-05,SO-02-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

科目名	
健康管理	
科目責任者(所属)	
横田 仁子	
到達目標	
<p>医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることに繋がります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。</p> <p>また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。</p>	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
<p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-①</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II-4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③</p>	
学修(教育)方法	
講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診	
評価方法 (1)総括的評価の対象	
講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない	
評価方法 (2)評価項目	
<p>医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。 LL-01-01-01</p> <p>自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。 LL-01-02-01</p> <p>自らの心身を大切にできる。 LL-01-02-02</p> <p>女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。 SO-04-02</p> <p>自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。 PR-02-02-01</p>	
評価方法 (2)評価項目続き	
評価方法 (3)評価基準	
上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する	
事前・事後学修	
-	
伝達事項	
健康管理行事に理由無く欠席しないこと	
実務経験	

○ 大学院の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曾根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新 行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新 女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太郎・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド 女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康 社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

関連リンク

添付ファイル ※ 3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/06(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	女子医学生のための健康管理教育 自分を大切にしよう			
	担当者(所属)	横田 仁子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準	A-9-1)②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			

科目名

テュートリアル・TBL_S5
科目責任者(所属)
-

到達目標
リンク集または「学修の手引き」参照
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号
-
学修（教育）方法
テュートリアル
評価方法 (1)総括的評価の対象
リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目
-
リンク集または「学修の手引き」参照
評価方法 (2)評価項目続き
評価方法 (3)評価基準
リンク集または「学修の手引き」参照
事前・事後学修
講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義でのテストや講義者からの解説をもとに事後学修する。
伝達事項
リンク集または「学修の手引き」参照
実務経験
教科書・参考図書
関連リンク
添付ファイル ※ 3 つまで、1 ファイルにつき 5 MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2026/04/27(月)	1 時限	テュートリアル	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	オリエンテーション			
	担当者 (所属)	大森 久子			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				1
2.	2026/05/07(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				2
3.	2026/05/07(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題1 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	有泉 俊一 衛藤 薫 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				3
4.	2026/05/07(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題1			
	担当者 (所属)	有泉 俊一 衛藤 薫 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				4
5.	2026/05/07(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2026/05/11(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2026/05/11(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題2 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	大森 久子 岸野 真衣子 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2026/05/11(月)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題2			
	担当者 (所属)	大森 久子 岸野 真衣子 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2026/05/11(月)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2026/05/18(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10

1 1.	2026/05/18(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題3 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	大森 久子 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				11
1 2.	2026/05/18(月)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題3			
	担当者 (所属)	大森 久子 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				12
1 3.	2026/05/18(月)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				13
1 4.	2026/05/21(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				14
1 5.	2026/05/21(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題4 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者 (所属)	七字 美延 森本 聡 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				15
1 6.	2026/05/21(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40

	タイトル	課題4			
	担当者（所属）	七字 美延 森本 聡 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				16
1 7.	2026/05/21(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				17
1 8.	2026/05/25(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				18
1 9.	2026/05/25(月)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題5（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	小川 真平 高野 倫嘉 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				19
2 0.	2026/05/25(月)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題5			
	担当者（所属）	小川 真平 高野 倫嘉 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				20
2 1.	2026/05/25(月)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05

	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				21
2 2.	2026/05/28(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				22
2 3.	2026/05/28(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題6（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	中村 真一 高木 聡 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				23
2 4.	2026/05/28(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題6			
	担当者（所属）	中村 真一 高木 聡 遠藤 太嘉志			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				24
2 5.	2026/05/28(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				25
2 6.	2026/06/01(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				26
2 7.	2026/06/01(月)	2時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題7（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	小川 真平 大森 久子 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				27
2 8.	2026/06/01(月)	3時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題7			
	担当者（所属）	小川 真平 大森 久子 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				28
2 9.	2026/06/01(月)	4時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				29
3 0.	2026/06/04(木)	1時限	テュートリアル	-	09:00-10:10
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				30
3 1.	2026/06/04(木)	2時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題8（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			

	担当者（所属）	中村 真一 高木 聡 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				31
3 2.	2026/06/04(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題8			
	担当者（所属）	中村 真一 高木 聡 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				32
3 3.	2026/06/04(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				33
3 4.	2026/06/11(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				34
3 5.	2026/06/11(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題9（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	伊藤 進 高木 聡 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				35
3 6.	2026/06/11(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題9			

	担当者（所属）	伊藤 進 高木 聡 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				36
3 7.	2026/06/11(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				37
3 8.	2026/06/18(木)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				38
3 9.	2026/06/18(木)	2 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題10（10:00-11:40）（PC室1）※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	中村 真一 世良 康如 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				39
4 0.	2026/06/18(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題10			
	担当者（所属）	中村 真一 世良 康如 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				40
4 1.	2026/06/22(月)	1 時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			

	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				41
4 2.	2026/06/22(月)	2時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題11 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	大森 久子 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				42
4 3.	2026/06/22(月)	3時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題11			
	担当者（所属）	大森 久子 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				43
4 4.	2026/06/22(月)	4時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				44
4 5.	2026/06/25(木)	1時限	テュートリアル	-	09:00-10:00
	タイトル	自己学修			
	担当者（所属）	--			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				45
4 6.	2026/06/25(木)	2時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題12 (10:00-11:40) (PC室 1) ※対面のみで配信なし			
	担当者（所属）	衛藤 薫 高木 聡 世良 康如			

	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				46
4 7.	2026/06/25(木)	3 時限	テュートリアル	PC室 1	10:00-11:40
	タイトル	課題12			
	担当者 (所属)	衛藤 薫 高木 聡 世良 康如			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				47
4 8.	2026/06/25(木)	4 時限	テュートリアル	-	13:55-15:05
	タイトル	自己学修			
	担当者 (所属)	- -			
	コアカリキュラム/S10国試 出題基準				
	講義資料番号/連番(LM S)				48

Problem based learning (PBL) テュートリアルと Team-based learning (TBL) について

PBL テュートリアル (テュートリアル) と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として 1990 年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として 2008 年度から導入した。

1. PBL テュートリアル (テュートリアル) とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

- 1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修）。
- 2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
- 3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
- 4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1 年生から 4 年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

2. Team-based learning (TBL) と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008 年度より 4 年生後期（セグメント 8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診

療問題解決型テュートリアル」に代わって TBL を導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020 年度より 2, 3, 4 年生（セグメント 3-7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020 年度から開始された 4 年生後期（セグメント 8）の「入門型臨床実習」、5 年生（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村 真一（消化器内科学）

TBL の特徴

1. 予習（事前学修）を前提としている。
2. 個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3. 1 人もしくは 2 人の教員がすべてのチームを管理。
4. 教員は司会者および専門家として機能する。
5. 学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S5 では、診療上の問題発見・解決の中で、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常について学修する。さらに医学的知識のみならず、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生についても学修する。これまで「診療問題解決型テュートリアル」として行われてきた内容を TBL という学修法で学ぶ。

TBL の概要

事前学修に始まる以下の 3 つのプロセスで構成される。

I. 予習

- 事前に学修すべき項目が提示される。
- 項目に沿って個々に事前学修する。

II. 基本ユニット

個人テスト

- ・ 学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）

チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成

チーム間討論とフィードバック

- ・ チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論
- ・ 専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

III. 応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決

応用テストにおいてII.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBLの進行（1回の授業）

I. 予習

II. 基本ユニット

III. 応用ユニット

予習 (クラス前)	基礎知識の確認 予習確認テスト・討論	応用・発展的問題解決 応用テスト・討論
個人学修	個人テスト チーム内討論 チームテスト	個人テスト チーム内討論 チームテスト
	チーム間討論 教員によるフィードバック	チーム間討論 教員によるフィードバック

具体的な進め方

進行の仕方

以下のIからIIIのプロセスを1回の授業として、2~4回繰り返し1つの課題を学ぶ。

I. 予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

II. 基本ユニット

1. 個人テスト

- ・ 事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。

2. チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。
 - ・ 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。
3. チーム間討論
- ・ 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
 - ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
 - ・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。
4. 専門家によるフィードバック
- ・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。

III. 応用ユニット

- ・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。

IV. アセスメント

- ・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。

V. 評価

- ・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は5点満点で、課題毎に評価が行われる。
- ・ 講義開始時のレスポンスアナライザー端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病欠欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。
- ・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が2点未満の場合は進級できない。
- ・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価を行う場合もある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

1. TBLは授業であるので飲食は行わない。
2. 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。

3. 個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる）。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が発せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

チュートリアル・TBL日程/課題作成者（講義担当者）

課題番号	年月日	曜	時間	講義室	担当教員
オリエンテーション	2026/4/27	月	9:00～10:10	PC室1	足立医療センター内科 大森 久子
課題1	2026/5/7	木	10:00～11:40	PC室1	肝・胆・膵外科学分野 有泉 俊一
課題2	2026/5/11	月	10:00～11:40	PC室1	消化器内視鏡科 岸野 真衣子
課題3	2026/5/18	月	10:00～11:40	PC室1	液性病態制御内科学分野 高野 倫嘉
課題4	2026/5/21	木	10:00～11:40	PC室1	小児科学分野 七字 美延
課題5	2026/5/25	月	10:00～11:40	PC室1	足立医療センター内科 大森 久子
課題6	2026/5/28	木	10:00～11:40	PC室1	糖尿病・代謝内科学分野 高木 聡
課題7	2026/6/1	月	10:00～11:40	PC室1	炎症性腸疾患外科学分野 小川 真平
課題8	2026/6/4	木	10:00～11:40	PC室1	消化器内科学分野 中村 真一
課題9	2026/6/11	木	10:00～11:40	PC室1	小児科学分野 伊藤 進
課題10	2026/6/18	木	10:00～11:40	PC室1	内分泌内科学分野 大月 道夫
課題11	2026/6/22	月	10:00～11:40	PC室1	足立医療センター内科 大森 久子
課題12	2026/6/25	木	10:00～11:40	PC室1	糖尿病・代謝内科学分野 高木 聡

IV 試験科目表・試験日程表

試験科目・日程表

試験科目 (基幹科目)	栄養・代謝系 内分泌・高血圧系 消化器系1 消化器系2 新生児・小児・思春期 加齢と老化、臨終 テュートリアル・TBL
(学年縦断科目)	国際コミュニケーション AI・データサイエンスと医療 基本的・医学的表現技術 健康管理 医療・患者安全学 「至誠と愛」の実践学修 選択科目

(試験日程)

年月日	曜	時間	試験科目	試験場所
2026/7/13	月	13:00	加齢と老化、臨終	202.203
2026/7/14	火	13:30	栄養・代謝系、内分泌・高血圧系	202.203
2026/7/15	水	13:30	新生児・小児・思春期	202.203
2026/7/16	木	13:00	消化器系1、消化器系2	202.203
2026/7/17	金	12:30	基本的・医学的表現技術	202.203
2026/7/17	金	14:30	医療・患者安全学	202.203

(追・再試験日程)

年月日	曜	時間	試験科目	試験場所
2026/8/17	月	13:00	加齢と老化、臨終	202.203
2026/8/17	月	16:00	基本的・医学的表現技術	202.203
2026/8/18	火	14:00	内分泌・高血圧系	202.203
2026/8/19	水	13:00	栄養・代謝系	202.203
2026/8/20	木	13:00	新生児・小児・思春期	202.203
2026/8/21	金	13:00	消化器系1、消化器系2	202.203

V S5, S6 学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

S5 教育委員会

委員長	大月道夫	教授	(内科学 (内分泌内科学分野)) 主担当 S5
副委員長	岡崎賢	教授	(整形外科学 (整形外科学分野)) 主担当 S6
委員	山口茂樹	教授	(外科学 (消化管外科学分野))
	中井陽介	教授	(内科学 (消化器内科学分野))
		教授	(内科学 (液性病態制御内科学分野))
	長尾元嗣	教授	(内科学 (糖尿病・代謝内科学分野))
		教授	(小児科学 (小児科学分野))
	小川哲也	教授	(足立医療センター 内科)

S6 教育委員会

委員長	岡崎賢	教授	(整形外科学 (整形外科学分野)) 主担当 S6
副委員長	大月道夫	教授	(内科学 (内分泌内科学分野)) 主担当 S5
委員		教授	(外科学 (脳神経外科学分野))
		教授	(精神医学 (精神医学分野))
	水足邦雄	教授	(耳鼻咽喉科学 (耳鼻咽喉科学分野))
		教授	(眼科学 (眼科学分野))
		教授	(皮膚科学 (皮膚科学分野))
	藤堂謙一	教授	(内科学 (脳神経内科学分野))
	宮田麻理子	教授	(生理学 (神経生理学分野))

チュートリアル委員会・TBL委員会

委員長	中村真一	教授	(内科学 (消化器内科学分野))
副委員長	飯嶋睦	教授	(内科学 (脳神経内科学分野))
	山村幸江	准教授	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)
	越野一朗	講師	(統合教育学修センター 基礎科学)
委員	大森久子	講師	(足立医療センター 内科)
"	高木聡	助教	(糖尿病・代謝内科学分野)
"	森本聡	准教授	(足立医療センター 内科)
"	小川真平	准教授	(外科学 (消化管外科学分野))
"	衛藤薫	講師	(足立医療センター 小児科)

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委員長	野原理子	教授	(衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野 公衆衛生学部門))
副委員長	柳澤直子	教授	(微生物学免疫学 (微生物学免疫学分野))
	西井明子	教授	(統合教育学修センター)
	横田仁子	准教授	(学生健康管理室)

研究プロジェクト教育委員会

委員長	藤枝弘樹	教授	(解剖学 (神経分子形態学分野))
副委員長		教授	()

国際コミュニケーション委員会

委員長	長坂安子	教授	(麻酔科学 (麻酔科学分野))
副委員長代理	佐藤明可	講師	(統合教育学修センター 基礎教育学)

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	正宗賢	教授	(先端生命医科学研究所)
副委員長	野原理子	教授	(衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野 公衆衛生学部門))

学生委員

学年担当	水足邦雄	教授	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野)
------	------	----	------------------

VI 選 択 科 目

外 国 語
人文科学系
社会科学系
自然科学系
保 健 体 育
他大学オープン科目

※各科目の講義内容、評価に関する事、日程等の詳細については
「令和8（2026）年度学修の手引き〈選択科目〉」を参照すること。

履修要領をよく読んで履修登録を行ってください。

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1. 科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
English for Medical Professionals	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
Preparation for Study Abroad	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語 (Medical English)	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級韓国語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/22から9/30、後期は10/7から翌年2/3までの水曜日5限（15：20～16：30）、6限（16：45～17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・**ガイダンス** 新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・**履修登録**について

1年生前期：

新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は4月10日(金)12:30まで

- ※1. 期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
- 2. Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 3. 科目によって受講者数を制限することがある。
- 4. 登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト1年総合掲示板に掲載する。
- 3. により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

1年生後期、および2～4年(前・後期)：

新学年ポータルサイトからのweb登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4月1日(水)～4月10日(金)12:30まで (期間を過ぎると登録できない。)

後期分…8月24日(月)～9月3日(木)12:30まで (" ")

- ※1. web登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 2. 受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次の前期までにのべ6科目以上(12単位以上)履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文科学系もしくは社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表I)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。(以上、**学生便覧参照**)

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

前 期 (4月22日～9月30日)	
初級フランス語Ⅰ(○) — 令和8年度は非開講	
English for Medical Professionals Ⅰ (岡野)	
Preparation for Study Abroad Ⅰ (大野)	
医療英語 (Medical EnglishⅠ) (遠藤)	(共通)
初級中国語Ⅰ (館)	(共通)
哲学A (山野)	(共通)
医療人のための法学A (中島)	(共通)
医療と社会デザインA (山本)	
医学情報学 (田村)	
心理学A (大塚)	
フィットネスの理論と実技A (沢田) ※	

【水曜 6限 16:45～17:55】

前 期 (4月22日～9月30日)	
初級ドイツ語Ⅰ (伊藤)	(共通)
初級コリア語Ⅰ (朴)	(共通)
倫理学A (磯部)	(共通)
歴史学A (菅原)	(共通)
医療人のための経済学A (大石)	(共通)
数学A (小野木)	
フィットネスの理論と実技B (沢田) ※	

(共通) は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

後 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

後 期 (10月7日～2月3日)	
初級フランス語Ⅱ(○) — 令和8年度は非開講	
English for Medical Professionals Ⅱ (岡野)	
Preparation for Study Abroad Ⅱ (大野)	
医療英語 (Medical EnglishⅡ) (遠藤)	(共通)
初級中国語Ⅱ (館)	(共通)
哲学B (山野)	(共通)
医療人のための法学B (辻村)	(共通)
医療と社会デザインB (山本)	
生物学 (後期) (石井)	
物理学 (後期) B (辻野)	
化学 (後期) (越野)	

【水曜 6限 16:45～17:55】

後 期 (10月7日～2月3日)	
初級ドイツ語Ⅱ (伊藤)	(共通)
初級コリア語Ⅱ (朴)	(共通)
倫理学B (磯部)	(共通)
歴史学B (菅原)	(共通)
医療人のための経済学B (大石)	(共通)
数学B (小野木)	
物理学 (後期) A (辻野)	
心理学B (佐藤)	
食と栄養の科学 (松井)	

＜看護学部の開講科目＞

【水曜 5限 15:15～16:25】

【水曜 5限 15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前 期 (4月22日～9月30日)	
文化人類学A (宍戸) ※	(共通)
女性とジェンダーA (平川) ※	(共通)

後 期 (10月7日～2月3日)	
文化人類学B (宍戸) ※	(共通)
女性とジェンダーB (平川) ※	(共通)

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

VIII 講義・実習時間割表

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 1 週	4 / 6 月	(講義) オリエンテーション	(講義) 健康管理	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 1	(講義) 内分泌・高血圧系
		S5オリエンテーション (麻醉科 長坂) (糖尿病・代謝内科学 長尾) (耳鼻咽喉科・頭頸部外科 水足) (ゲノム診療科 松尾)	女子医学生のための 健康管理教育 自分を大切にしよう (学生健康管理室 横田)	1 消化器疾患概論 (消化器内科学 中村)	2 検体 生理生体検査 (消化器内科学 谷合)	1 消化液の分泌と作用 (統合教育学習センター 基礎科学 越野)	1. 内分泌系総論 (内分泌内科学 大月)
	4 / 7 火	(講義) 内分泌・高血圧系 2 水溶性ホルモン (生化学 中村)	(講義) 内分泌・高血圧系 3 脂溶性ホルモン (生化学 中村)	(講義) 内分泌・高血圧系 4. 先端巨大症、成長ホルモン分泌不全 (内分泌内科学 大月)	(講義) オリエンテーション 研究PJ オリエンテーション (解剖学(神経分子形態学) 藤枝)		
	4 / 8 水		(講義) 「至誠と愛」の実践学修 1 キャリアを考える(6)「女性医師ロールモデル実習ガイダンス(全体)」 (学生健康管理室 横田)		(講義) 消化器系 2 4 消化器疾患の診断学・症候学腫瘍学総論 (消化器内科学 中井)	(講義) 内分泌・高血圧系 5. 高プロラクチン血症、その他の間脳下垂体腫瘍 (内分泌内科学 大月)	
	4 / 9 木	(講義) 消化器系 1 2 口腔咽頭組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(講義) 消化器系 1 3 口腔咽頭組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(実習) 消化器系 1 1, 2, 3 口腔咽頭組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津,横溝,菊田,矢作,望月,駒井) (統合教育学修センター 基礎科学 石井,浦瀬)			
	4 / 10 金	(講義) 消化器系 2 5 消化管内視鏡診断 胃炎・急性胃粘膜障害 機能性胃腸症 (消化器内視鏡科 野中)	(講義) 消化器系 1 4 消化と吸収 (統合教育学修センター 基礎教育学 伊豆原)	(講義) AI・データサイエンスと医療 1 疫学とは (衛生学公衆衛生学 野原)	(講義) AI・データサイエンスと医療 2 疫学指標:罹患率と有病率 (衛生学公衆衛生学 野原)	(講義) 消化器系 2 3 胃十二指腸潰瘍 (消化器内視鏡科 岸野)	
	4 / 11 土						

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第2週	4/13 月	(講義) 4 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	(実習) 消化器系 1	@大実習室3								
		5 消化管組織	6 消化管組織	4, 5, 6 消化管組織									
		(解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津,横溝,菊田,矢作,望月,駒井) (統合教育学修センター 基礎科学 石井,浦瀬)									
	4/14 火	(講義) 4 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) AI・データサイエンスと医療	(講義) AI・データサイエンスと医療	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 消化器系 2						
		6 口腔腫瘍・口腔感染症	7 先天疾患・咬合異常	3 疫学指標:年齢調整死亡率と標準化死亡比	4 疫学指標:生命表と平均寿命	6. 下垂体機能低下症	8 消化器外科総論、腫瘍学総論						
	(歯科口腔外科学 岡本)	(歯科口腔外科学 古賀)	(衛生学公衆衛生学 野原)	(衛生学公衆衛生学 野原)	(内分泌内科学 大月)	(消化器外科学 山口)							
4/15 水		(WS) 医療・患者安全学	(WS) 医療・患者安全学			(講義) 内分泌・高血圧系							
		1. 感染の予防と管理	2. 侵襲的処置と患者安全			7. 尿崩症、SIADH							
		(医療安全科 清水、中島、世川、松村、看護学部 吉武)	(医療安全科 清水、中島、世川、松村、看護学部 吉武)			(内分泌内科学 大月)							
4/16 木	(講義) 4 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 消化器系 2	(講義) 「至誠と愛」の実践学修	(講義) 消化器系 2								
	8. 甲状腺中毒症	9. 甲状腺機能低下症	10. 消化管感染症	2 臨床研究倫理(1)	9 胃粘膜下腫瘍 消化管神経内分泌腫瘍								
	(内分泌内科学 大月)	(内分泌内科学 大月)	(消化器内視鏡科 岸野)	(研究推進センター 佐々木)	(消化器外科学 伊藤)								
4/17 金	(講義) 4 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	(講義) 栄養・代謝系									
	7 消化管の運動	8 消化管ホルモンの分泌と作用	9 胆道系・膵機能	1 糖尿病の概念、病型分類、診断、疫学									
	(統合教育学修センター 基礎教育学 伊豆原)	(統合教育学修センター 基礎教育学 伊豆原)	(統合教育学修センター 基礎教育学 伊豆原)	(糖尿病・代謝内科学 長尾)									
4/18 土													

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 3 週	4 / 20 月	(講義) 4 消化器系 1 10. 肝胆膵組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(講義) 消化器系 1 11. 肝胆膵組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 菊田)	(実習) 消化器系 1 7, 8, 9 肝胆膵組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学) 石津, 横溝, 菊田, 矢作, 望月, 駒井) (統合教育学修センター 基礎科学 石井, 浦瀬)	@大実習室3								
	4 / 21 火	(講義) 4 消化器系 2 11. 炎症性腸疾患1 (消化器内科学 米澤)	(講義) 消化器系 2 12. 炎症性腸疾患2 (消化器内科学 米澤)	(講義) 栄養・代謝系 2 血糖調節とホルモン1 (正常) (生化学 中村)	(講義) 内分泌・高血圧系 10. 甲状腺腫瘍 (内分泌外科学 尾身)	(講義) 内分泌・高血圧系 11. Ca代謝異常 (1) (カルシウム代謝, 副甲状腺機能低下症) (内分泌内科学 大月)							
	4 / 22 水	(講義) 4 消化器系 2 13. 食道疾患 (八千代医療センター 消化器外科 太田)	(講義) 消化器系 1 12. 消化管作用薬 (薬理学 梶)		(講義) 内分泌・高血圧系 29 高血圧と液性調節レニン-アンジオテンシン系 (原発性アルドステロン症を含む) (液性病態制御内科学 渡辺)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55						
	4 / 23 木	(講義) 内分泌・高血圧系 12. Ca代謝異常(2):副甲状腺疾患 (内分泌外科学 吉田)	(講義) 内分泌・高血圧系 13. 骨粗鬆症 (内分泌内科学 大月)	(講義) 栄養・代謝系 4. その他の特定機序、疾患による糖尿病 (糖尿病・代謝内科学 小林)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 3 臨床研究倫理(2) (研究推進センター 蔦池、佐々木、佐藤、縣)	(ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修 4 臨床研究倫理(2)※収録配信なし、対面のみ (研究推進センター 蔦池、佐々木、佐藤、縣)	(ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修 5 臨床研究倫理(2)※収録配信なし、対面のみ (研究推進センター 蔦池、佐々木、佐藤、縣)						
	4 / 24 金	(講義) 4 消化器系 2 14 消化不良症候群・蛋白漏出性胃腸症 (消化器内科学 谷)	(講義) 消化器系 2 15 小腸疾患の診断と治療 (消化器内科学 大森)	(講義) 消化器系 2 16 上部消化管病理 (病理診断学 長嶋)	(実習) @講義室201 消化器系 2 1, 2, 3 上部消化管病理 (病理診断学 長嶋、種田、吉澤、井藤、関)								
4 / 25 土													

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 4 週	4 / 27 月	(TBL) オリエンテーション	(講義) 内分泌・高血圧系 26 高血圧総論(高血 圧と遺伝学を含む) (足立医療センター 内科 森本)	(講義) 内分泌・高血圧系 30 高血圧と液性調節 交感神経系(褐色細胞 腫・パラガングリオーマ を含む) (液性病態制御内科学 渡辺)	(講義) 内分泌・高血圧系 27 高血圧診療ガイド ラインに基づく診療、各 種降圧薬の使用法 (液性病態制御内科学 高野)	(講義) 消化器系 1 13 消化管局所解剖 (食道) (消化器外科学 前田)	(講義) 消化器系 1 14 消化管局所解剖 (胃) (消化器外科学 伊藤)	(講義) 消化器系 1 15. 消化管局所解剖 (大腸) (消化器外科学 山口)	(講義) 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	(講義) 消化器系 1	
	4 / 28 火	(講義) 新生児・小児・思春期 1. 小児代謝疾患 (足立医療センター小 児科学 衛藤)	(講義) 新生児・小児・思春期 2. 小児の救急医療 (小児科学 伊藤)	(講義) 内分泌・高血圧系 27 高血圧診療ガイド ラインに基づく診療、各 種降圧薬の使用法 (液性病態制御内科学 高野)	(講義) 内分泌・高血圧系 28 二次性高血圧の鑑 別 (液性病態制御内科学 高野)	(講義) 内分泌・高血圧系 14. Cushing症候群 (Cushing病、Subclinical Cushing症候群を含む) (内分泌内科学 大月)	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	(講義) 内分泌・高血圧系	
	4 / 29 水	昭和の日											
	4 / 30 木	休業											
	5 / 1 金	休業											
5 / 2 土	休業												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第5週	5 / 4 月	みどりの日										
	5 / 5 火	こどもの日										
	5 / 6 水	振替休日										
	5 / 7 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 消化器系 1 消化器外科学 有泉	(TBL) (自己学修)								
	5 / 8 金	(講義) 消化器系 2 17 胃癌 (消化器外科学 伊藤)	(講義) 消化器系 2 18 直腸肛門疾患 (消化器外科学 腰野)	(実習) 内分泌・高血圧系 @大実習室1 4, 5 ホルモン定量 (生化学 中村、田中、榎原、新敷、瀧澤、千村)								
	5 / 9 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 6 週	5 / 11 月	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 消化器系2 消化器内視鏡科 岸野				(TBL) (自己学修)		(講義) 消化器系 2 19 消化器疾患疫学 (消化器内科 中村)		(実習) 「至誠と愛」の実践学修 @302、チュートリアル室17~30 キャリアを考える(6)「女性 医師のロールモデル実習 ガイダンス(小グループ)」 (母子総合医療センター 首 里)(学生健康管理室 横田) (小児科学 石垣)他	
	5 / 12 火	(講義) 栄養・代謝系 3 血糖調節とホルモン 2(病態) (糖尿病・代謝内科学 長 尾)			(講義) 消化器系 2 20 中下部消化管病理 (病理診断学 長嶋)		(実習) @講義室201 消化器系 2 4, 5, 6 中下部消化管病理 (病理診断学 長嶋、種田、吉澤、井藤、関)					
	5 / 13 水	(講義) 新生児・小児・思春期 3. 小児の感染症① (小児科学 岸)	(講義) 新生児・小児・思春期 4. 先天異常 (ゲノム診療科 山本)	(講義) 新生児・小児・思春期 5. 新生児の特徴 (母子総合医療センター 垣内)	(講義) 新生児・小児・思春期 6. 新生児、早産児1 (母子総合医療センター 垣内)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55					
	5 / 14 木	(講義) 内分泌・高血圧系 24 小児の内分泌疾患 (小児科学 立川)	(講義) 内分泌・高血圧系 25 小児の肥満、脂質 代謝異常 (小児科学 立川)	(講義) 消化器系 2 21 消化管血行障害・ 腸閉塞・ヘルニア (消化器外科学 前田)	(講義) 消化器系 2 22 消化器画像・消化 器IVR (消化器外科学 有泉)	(講義) 新生児・小児・思春期 7. 小児の遺伝子疾患 (ゲノム診療科 松尾)						
	5 / 15 金	(講義) 内分泌・高血圧系 22 内分泌臓器の構造 (解剖学(顕微解剖学・ 形態形成学) 石津)	(講義) 内分泌・高血圧系 23 内分泌臓器の構造 (解剖学(顕微解剖学・ 形態形成学) 石津)	(実習) 内分泌・高血圧系 @大実習室3 1, 2, 3 内分泌臓器の構造 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)石津、横溝、菊田、矢作、望月、駒井) (統合教育学修センター 基礎科学 石井、浦瀬)								
	5 / 16 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 7 週	5 / 18 月	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00～11:40 内分泌・高血圧系 足立医療センター内科 大森				(TBL) (自己学修)		(講義) 消化器系 2 23 肝疾患概論肝臓の 役割・黄疸の診断と鑑 別 (消化器内科学 谷合)				
	5 / 19 火	(講義) 消化器系 2 24 肝機能とその異常 タンパク代謝 (生化学 中村)	(講義) 消化器系 2 25 肝疾患病理 (病理診断学 長嶋)	(実習) 消化器系 2 @講義室201 7, 8, 9 肝疾患病理 (病理診断学 長嶋、種田、吉澤、井藤、関)									
	5 / 20 水	(講義) 加齢と老化、臨終 9. 臨終・死・死亡診断 書 (足立医療センター 内科 風間)	(実習) 栄養・代謝系 1 Case Study(検査一 般) (臨床検査科 菅野)						(選択科目) 15:20～16:30		(選択科目) 16:45～17:55		
	5 / 21 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00～11:40 新生児・小児・思春期 小児科学 七字				(TBL) (自己学修)		(講義) 新生児・小児・思春期 8. 小児の筋疾患 (小児科学 石垣)				
	5 / 22 金	(講義) 国際コミュニケーション 1.英語医療面接H&P (History & Physical) 概 論と主訴(CC: Chief Complaint) (麻酔科 岡野龍介 統合教育学修センター 基礎教育学大野・佐藤)	(講義) 消化器系 2 26 薬物性肝障害 (八千代医療センター 消化器内科 新井)	(行事) 「至誠と愛」の実践学修 吉岡彌生記念講演会 ※配信とするか未定									
	5 / 23 土												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 8 週	5 / 25 月	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 加齢と老化・臨終 液性病態制御内科学 高野			(TBL) (自己学修)			(講義) 消化器系 1 16 肝胆膵局所解剖 (肝) (消化器外科学 本田)	(講義) 消化器系 2 27 胆道癌 (消化器外科学 本田)		
	5 / 26 火	(講義) 消化器系 2 28 胆膵の画像・ ERCP・先天性膵胆道 疾患 (八千代医療センター 消化器外科 樋口)	(講義) 栄養・代謝系 7. 脂質代謝、ビタミン 欠乏・過剰 (総合教育学修センター 基礎科学 越野)	(講義) 栄養・代謝系 8 肥満症・脂質異常症 (糖尿病・代謝内科学 長尾)	(講義) 消化器系 2 29 慢性膵炎 (消化器内科学 高山)	(講義) 内分泌・高血圧系 15. 副腎偶発腫瘍、副 腎悪性腫瘍 (内分泌内科学 大月)						
	5 / 27 水	(講義) 新生児・小児・思春期 9. 母子保健、学校保健 (小児科学 加藤)	(講義) 新生児・小児・思春期 10. 小児の予防接種と 感染予防 (小児科学 加藤)	(講義) 栄養・代謝系 9 糖尿病性神経障害 (糖尿病・代謝内科学 高山)	(講義) 栄養・代謝系 10 糖尿病性眼合併症 (眼科学 丸子)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55					
	5 / 28 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 栄養・代謝系 糖尿病・代謝内科学 高木		(TBL) (自己学修)	(講義) 消化器系 2 30 肝硬変 (消化器内科学 小木曾)						
	5 / 29 金	(WS) 医療・患者安全学 3. 医療機器と患者安全 (臨床工学科 原,医療安全 科 清水、中島、世川、松 村、看護学部 吉武、吉田)	(講義) 栄養・代謝系 11 高乳酸血症、ミトコン ドリア病、ペルオキシ ゾーム病 (足立医療センター 小児科 衛藤)	(講義) 消化器系 2 31 消化管ポリープ・ポ リポーシス・憩室 (消化器外科学 番場)	(講義) 国際コミュニケーション 2. 英語医療面接 History of Present Illness: HPT① (麻酔科岡野、統合教育 学修センター基礎教育 大野、佐藤)	(講義) 内分泌・高血圧系 16. 先天性副腎過形 成、性腺疾患 (内分泌内科学 大月)						
	5 / 30 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 9 週	6 / 1 月	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 消化器系1 消化器外科学 小川				(TBL) (自己学修)		(講義) 消化器系 2 32 ウイルス性肝炎 (足立医療センター 検査科 古市)	(講義) 消化器系 2 33 急性肝炎・劇症肝炎 (消化器内科学 鳥居)			
	6 / 2 火		(講義) 新生児・小児・思春期 11, 小児の呼吸器疾患 (小児科学 鈴木)	(講義) 新生児・小児・思春期 12 重金属代謝異常、ライゾーム病 (足立医療センター 小児科 衛藤)	(講義) 栄養・代謝系 34 急性膵炎 重症急性膵炎 (消化器内科学 中井)	(講義) 消化器系 2 35 脂肪肝・アルコール性肝炎 (消化器内科学 谷合)							
	6 / 3 水	(講義) 新生児・小児・思春期 12. 新生児、早産児2, 新生児医療と保健対策 (母子総合医療センター 垣内)	(講義) 新生児・小児・思春期 13. 新生児医療と倫理 (母子総合医療センター 垣内)	(講義) 新生児・小児・思春期 14. 小児の栄養・消化器 (小児科学 山本)			(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55					
	6 / 4 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 消化器系2 消化器内科学 中村			(TBL) (自己学修)	(講義) 新生児・小児・思春期 15. 免疫アレルギー疾患 (小児科学 鈴木)						
	6 / 5 金	(講義) 加齢と老化、臨終 15. 高齢者の呼吸器疾患 (足立医療センター 内科 中田)	(講義) 消化器系 1 17 肝胆膵局所解剖 (胆) (消化器外科学 川本)			(講義) 新生児・小児・思春期 16. 小児の水・電解質・尿細管異常 (腎臓小児科 白井)	(講義) 消化器系 2 36 胆のう結石・胆管結石・肝内結石・胆のう炎 (消化器外科学 松永)	(講義) 消化器系 2 37 膵癌 膵神経内分泌腫瘍 (東京女子医科大学客員教授 古川)					
	6 / 6 土												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第10週	6/8 月				(講義) 消化器系 2 38 急性腹症 虫垂炎、腹膜炎 (消化器外科学 番場)		(講義) 加齢と老化、臨終 5. 細胞の老化 (生化学 中村)		(講義) 加齢と老化、臨終 22. 高齢者の診察と評価 (足立医療センター 内科 青鹿)		(講義) 内分泌・高血圧系 17. 原発性副腎皮質機能低下症 (内分泌内科学 大月)	
	6/9 火	(講義) 栄養・代謝系 6 糖尿病と妊娠 (糖尿病・代謝内科学 長尾)	(講義) 栄養・代謝系 5 糖尿病の治療(食事、運動、薬物療法) (糖尿病・代謝内科学 高木)		(講義) 消化器系 2 39 胆膵疾患病理 (病理診断学 長嶋)		(実習) 消化器系 2 @講義室201 10, 11, 12 胆膵疾患病理 (病理診断学 長嶋 洋治、種田 積子、吉澤 佐恵子、井藤 奈央子、関 敦子)					
	6/10 水		(講義) 栄養・代謝系 17 ポルフィリア、アミロイドーシス (総合教育学修センター 基礎科学 越野)		(講義) 「至誠と愛」の実践学修 6 医療コミュニケーション(5)「患者の自己決定と自己解決のサポート (Coaching)」 (統合教育学修センター 基礎教育学 諏訪)		(講義) 消化器系 2 40 肝移植 (消化器外科学 小寺)		(選択科目) 15:20～16:30		(選択科目) 16:45～17:55	
	6/11 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00～11:40 新生児・小児・思春期 小児科学 伊藤			(TBL) (自己学修)		(講義) 基本的・医学的表現技術 1 科学者の行動規範、医学研究の倫理的原則 (法医学 木林)		(講義) 基本的・医学的表現技術 2 基礎と臨床の有機的連携による研究の実際(1) (微生物学免疫学 柳澤)		
	6/12 金		(講義) 内分泌・高血圧系 31 内分泌臓器の病理 (八千代病理診断科 中澤)		(実習) 内分泌・高血圧系 @201 6, 7, 8 内分泌臓器の病理 (八千代病理診断科 中澤)							
	6/13 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45	
第 11 週	6 / 15 月	(講義) 新生児・小児・思春期 17. 小児の腎・泌尿器疾患 (腎臓小児科 三浦)	(講義) 消化器系 2 41. 自己免疫性膵炎 (八千代医療センター 消化器内視鏡科 西野)	(講義) 加齢と老化、臨終 1. 科目の概要、加齢・ 高齢者医学総論 (足立医療センター 内科 小川)	(講義) 加齢と老化、臨終 6. 高齢者の眼科疾患 (足立医療センター 眼科 須藤)	(講義) 栄養・代謝系 18 糖尿病性大血管障害 (糖尿病・代謝内科学 花井)	
	6 / 16 火	(講義) 内分泌・高血圧系 18. 多腺性内分泌疾患 (多発性内分泌腫瘍 症、多腺性自己免疫症 候群) (内分泌内科学 大月)	(講義) 加齢と老化、臨終 4. 高齢者の神経・精神 疾患 (足立医療センター 内科 遠井)	(講義) 国際コミュニケーション 3. 英語医療面接 HPI② 短文作文練習・ 読解教科 (麻酔科岡野, 統合教育 学修センター 基礎教育 学 大野・佐藤)	(講義) 栄養・代謝系 15 蛋白質、アミノ酸代 謝異常 (足立医療センター 小児科 衛藤)	(実習) 栄養・代謝系 3 Case Study (医療面接、身体所 見) (糖尿病・代謝内科学 小 林)	(講義) 栄養・代謝系 16 糖尿病性腎症 (糖尿病・代謝内科学 花 井)
	6 / 17 水	(講義) 加齢と老化、臨終 12. 高齢者の外科疾患 ・周術期 (足立医療センター 麻酔科 市川)	(講義) 消化器系 2 42. 小児消化器疾患 (小児科学 山本)	(講義) 新生児・小児・思春期 (収録・配信なし) 18. 小児の法医学、児 童虐待 (法医学 木林)		(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55
	6 / 18 木	(TBL) 10:00～11:40 (自己学修) 内分泌・高血圧系 内分泌内科学 大月	(TBL) 10:00～11:40 内分泌・高血圧系 内分泌内科学 大月		(講義) 新生児・小児・思春期 19. 小児の感染症② (小児科学 岸)		(講義) 加齢と老化、臨終 3. 在宅介護、在宅医 療、在宅看取り (足立医療センター 内科 非常勤講師 山中)
	6 / 19 金	(講義) 新生児・小児・思春期 20. 小児の成長・発達 ① (小児科学 佐藤)	(講義) 新生児・小児・思春期 21. 小児の成長・発達 ② (小児科学 佐藤)	(講義) 新生児・小児・思春期 22. 児童精神 (小児科学 小平)	(講義) 消化器系 2 43 放射線治療口腔・ 消化器腫瘍・内分泌 (放射線腫瘍学 河野)	(講義) 消化器系 2 44. 自己免疫性肝疾患 (消化器内科学 谷合)	
	6 / 20 土						

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 12 週	6 / 22 月	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 加齢と老化・臨終 足立医療センター 大森				(TBL) (自己学修)		(講義) 栄養・代謝系 13 急性合併症、低血糖症 (糖尿病・代謝内科学 三浦)		(講義) 栄養・代謝系 14 1型・小児糖尿病 (糖尿病・代謝内科学 三浦)		
	6 / 23 火	(講義) 消化器系 2 45 膵嚢胞性疾患 (消化器外科学 川本)	(講義) 消化器系 2 46 肝機能とその異常 糖脂質代謝 (生化学 中村)	(講義) 消化器系 2 47 解毒・ビリルビン代 謝 (統合教育学習セン ター 基礎科学 越野)	(講義) 消化器系 2 48 肝腫瘍(良性悪 性)・肝嚢胞 (八千代医療センター 消化器外科 片桐)	(講義) 消化器系 2 49 肝腫瘍(良性悪 性)・肝嚢胞 (八千代医療センター 消化器外科 片桐)	(講義) 消化器系 2 48 肝腫瘍(良性悪 性)・肝嚢胞 (八千代医療センター 消化器外科 片桐)	(実習) 栄養・代謝系 2 Case Study(食事、運 動、薬物療法) (糖尿病・代謝内科学 大屋)					
	6 / 24 水	(講義) 新生児・小児・思春期 23. 思春期の成長発達 (小児科学 立川)	(講義) 新生児・小児・思春期 24. 小児の血液、腫瘍 疾患① (小児科学 鶴田)	(講義) 新生児・小児・思春期 25. 小児の血液、腫瘍 疾患② (小児科学 鶴田)	(講義) 新生児・小児・思春期 26. 小児のトランスレー ショナルリサーチ (小児科学 鶴田)	(講義) 新生児・小児・思春期 26. 小児のトランスレー ショナルリサーチ (小児科学 鶴田)	(講義) 新生児・小児・思春期 26. 小児のトランスレー ショナルリサーチ (小児科学 鶴田)	(講義) 新生児・小児・思春期 26. 小児のトランスレー ショナルリサーチ (小児科学 鶴田)	(選択科目) 15:20~16:30	(選択科目) 16:45~17:55			
	6 / 25 木	(TBL) (自己学修)	(TBL) 10:00~11:40 栄養・代謝系 糖尿病・代謝内科学 高木				(TBL) (自己学修)		(講義) 消化器系 1 18. 肝胆膵作用薬 (薬理学 松浦)		(講義) 消化器系 1 19 肝胆膵局所解剖 (膵) (八千代医療センター 消化器外科学 樋口)		
	6 / 26 金	(講義) 加齢と老化、臨終 10. 高齢者の薬物療法 (薬理学 梶)	(講義) 加齢と老化、臨終 11. 高齢者の血液・感 染症・免疫・膠原病 (足立医療センター 内科 高木)	(講義) 基本的・医学的表現技術 3 臨床での医学研究の 実際 (統合教育学修センター 西井)	(講義) 基本的・医学的表現技術 4 論文(原著論文・英文)の 読解と日本語要約(1) 【国際コミュニケーション 合同講義】 (法医学 木林) (統合教育学修センター 基礎教育学 遠藤、佐藤、山本、辻村)	(講義) 基本的・医学的表現技術 5 論文(原著論文・英文)の読 解と日本語要約(2) 【国際コミュニケーション 合同講義】 (法医学 木林) (統合教育学修センター 基礎教育学 遠藤、佐藤、山本、辻村)	(講義) 基本的・医学的表現技術 6 基礎と臨床の有機的 連携による研究の実際 (2) (放射線腫瘍学 栗林)						
	6 / 27 土												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 13 週	6 / 29 月	(講義) 基本的・医学的表現技術	(講義) 基本的・医学的表現技術	(講義) 基本的・医学的表現技術	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2	(講義) 消化器系 2			
		7. 症例報告スタイルの 学会発表準備と本番練習	8 研究報告スタイルの 学会発表準備(マーキング)		49 腫瘍内科学入門1	50 腫瘍内科学入門2	51 大腸癌						
		(病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 橋本)	(病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 倉田)		(腫瘍内科 近藤)	(腫瘍内科 小野)	(消化器外科学 山口)						
	6 / 30 火	(講義) 加齢と老化、臨終	(講義) 加齢と老化、臨終				(講義) 内分泌・高血圧系	(WS) 医療・患者安全学	(WS) 医療・患者安全学				
		21. 地域包括ケアと保 健・医療関連法規	18 .高齢者の内分泌・ 代謝疾患				19. その他の内分泌疾 患 (IgG4関連内分泌疾 患、免疫チェックポイント 阻害薬などの薬剤性 内分泌疾患など)	4. 薬の安全性を改善す る	5. ケーススタディー演習				
	(足立医療センター 内科 森本)	(足立医療センター 内科 森本)				(内分泌内科学 大月)	(医療安全科 清水、中 島、世川、松村、看護学 部 吉武、)	(医療安全科 清水、中 島、世川、松村、)					
7 / 1 水	(講義) 加齢と老化、臨終	(講義) 加齢と老化、臨終 (収録・配信なし)				(講義) 加齢と老化、臨終	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55					
	14. 高齢者の消化器疾 患	13. 高齢者の骨・運動 器疾患				7. 高齢者の食事・栄養 療法	2. 高齢者の循環器疾 患						
	(足立医療センター 内科 大野)	(足立医療センター 整形外科 田島)				(足立医療センター 外科 佐川)	(足立医療センター 総合診療科 青鹿)						
7 / 2 木		(講義) 内分泌・高血圧系				(講義) 消化器系 2	(講義) 加齢と老化、臨終						
		20. 内分泌緊急症				52 門脈圧亢進症	8. 高齢者の皮膚・口腔 疾患						
		(内分泌内科学 大月)				(消化器内科学 中村)	(足立医療センター 皮膚科 梅垣)						
7 / 3 金	(講義) 加齢と老化、臨終	(講義) 加齢と老化、臨終				(講義) 基本的・医学的表現技術							
	17. 高齢者のリハビリ テーション	16. 高齢者の腎・泌尿 器・生殖器疾患				9 研究報告スタイルの 学会発表準備(抄録・ 本番)							
	(足立医療センター リハビリテーション科 降矢)	(足立医療センター 骨盤底機能再建診療部 堀内)				(病理学(人体病理学・ 病態神経科学分野) 倉田)							
7 / 4 土													

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 14 週	7 / 6 月	(講義) 加齢と老化、臨終 (足立医療センター 耳鼻咽喉科 須納瀬)	(講義) 加齢と老化、臨終 (足立医療センター 内科 小川)	(講義) 新生児・小児・思春期 (小児外科 世川)	(講義) 新生児・小児・思春期 (小児外科 世川)								
	7 / 7 火	(講義) 新生児・小児・思春期 29. 小児外科③ (小児外科 世川)	(実習) 加齢と老化、臨終 1. 高齢者総合機能評価実習 (足立医療センター リハビリテーション科/内科 佐藤)	(実習) 加齢と老化、臨終 2. 介護保険医師意見書実習 (足立医療センター 内科 大森)	(講義) 基本的・医学的表現技術 10 論文(原著論文・英文)の読解と日本語要約(3) 【国際コミュニケーション合同講義】 (法医学 木林) (統合教育学修センター 基礎教育学 遠藤、佐藤、山本、辻村)	(講義) 内分泌・高血圧系 21. 周産期における内分泌疾患 (内分泌内科学 大月)							
	7 / 8 水	(講義) 加齢と老化、臨終 6/17 1時限より変更 12. 高齢者の外科疾患・周術期 (足立医療センター 麻酔科 市川)	(講義) 基本的・医学的表現技術 11 社会医学での研究・実務活動 (法医学 町田)	(講義) 基本的・医学的表現技術 12 医学・医療における文書作成(演習1) (法医学 木林) (統合教育学修センター 基礎教育学 辻村)	(講義) 基本的・医学的表現技術 13 医学・医療における文書作成(演習2) (法医学 木林) (統合教育学修センター 基礎教育学 辻村)	(選択科目) 15:20～16:30	(選択科目) 16:45～17:55						
	7 / 9 木	(実習) 新生児・小児・思春期 1 診察の実技 @スキルスラボ 〈第1グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 2 小児のBLSと救急 誤嚥、誤飲などの救急処置 @スキルスラボ 〈第1グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 1 診察の実技 @スキルスラボ 〈第2グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 2 小児のBLSと救急 誤嚥、誤飲などの救急処置 @スキルスラボ 〈第2グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)								
	7 / 10 金	(実習) 新生児・小児・思春期 1 診察の実技 @スキルスラボ 〈第3グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 2 小児のBLSと救急 誤嚥、誤飲などの救急処置 @スキルスラボ 〈第3グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 1 診察の実技 @スキルスラボ 〈第4グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)	(実習) 新生児・小児・思春期 2 小児のBLSと救急 誤嚥、誤飲などの救急処置 @スキルスラボ 〈第4グループ〉 (小児科学 石垣景子・岸崇之・伊藤進・佐藤孝俊・七字美延・中務秀嗣・立川 恵美子・石黒久美子・佐藤友哉 ホカ)								
	7 / 11 土												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 15 週	7 / 13 月		(試験) 13:00 ~ 15:00 【 試験 】加齢と老化、臨終			
	7 / 14 火		(試験) 13:30 ~ 16:30 【 試験 】栄養・代謝系，内分泌・高血圧系			
	7 / 15 水		(試験) 13:30 ~ 15:30 【 試験 】新生児・小児・思春期			
	7 / 16 木		(試験) 13:00 ~ 16:00 【 試験 】消化器系 1，消化器系 2			
	7 / 17 金		(試験) 12:30 ~ 13:40 【試験】@202・203 基本的・医学的表現技 術	(試験) 14:30 ~ 15:40 【試験】@202・203 医療・患者安全学		
	7 / 18 土					

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI						
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 16 週	7 / 20 月	海の日											
	7 / 21 火												
	7 / 22 水												
	7 / 23 木												
	7 / 24 金												
	7 / 25 土												

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 17 週	7 / 27 月											
	7 / 28 火											
	7 / 29 水											
	7 / 30 木											
	7 / 31 金											
	8 / 1 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第 18 週	8 / 3 月											
	8 / 4 火											
	8 / 5 水											
	8 / 6 木											
	8 / 7 金											
	8 / 8 土											

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
8 / 10 月						
8 / 11 火						
8 / 12 水						
8 / 13 木						
8 / 14 金						
8 / 15 土						

第
19
週

令和8年度 Segment5 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第20週	8 / 17 月				(試験) 13:00 ~ 15:00 【再試験】加齢と老化、臨終				(試験) 16:00 ~ 17:10 【再試験】基本的・医学的表現技術			
	8 / 18 火						(試験) 14:00 ~ 16:00 【再試験】内分泌・高血圧系					
	8 / 19 水				(試験) 13:00 ~ 15:00 【再試験】栄養・代謝系							
	8 / 20 木				(試験) 13:00 ~ 15:00 【再試験】新生児・小児・思春期							
	8 / 21 金				(試験) 13:00 ~ 16:00 【再試験】消化器系 1 , 消化器系 2							
	8 / 22 土											